

特色インクガイド

対象機種：LEC-330/540、LEJ-640、LEF-12i/200/300

第 1 章 準備編 3

第 2 章 印刷編 15

第 3 章 詳細編 49

はじめに確認すること

パソコンにインストールしている VersaWorks のバージョンを確認し、仕様に合った取扱説明書をご覧ください。

VersaWorks ロゴ	取扱説明書
 <small>RIP & PRINT MANAGEMENT SOFTWARE</small>	本書
 <small>RIP & PRINT MANAGEMENT SOFTWARE</small>	
 VersaWorks 6	https://webmanual.rolanddg.com/VersaWorks6

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

- 本製品を正しく安全にご使用いただくため、また性能を十分理解していただくために、この取扱説明書を必ずお読みいただき、大切に保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を、無断で複写・複製することはできません。
- 本製品の仕様ならびに本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- 本製品および本書の内容について、万が一不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたら、当社あてにご連絡ください。
- 本製品の故障の有無にかかわらず、本製品をお使いいただいたことによって生じた直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品により作られた製作物に対して生じた、直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

目次

目次	1
第 1 章 準備編.....	3
本書の前提と関連マニュアル	4
本書の前提.....	4
関連マニュアルについて	4
特色インクの特長と印刷方法	5
特色インクの特長.....	5
ホワイトインクを使った印刷方法.....	5
グロスインクを使った印刷方法	6
プライマーを使った印刷方法.....	6
作業前に知っておきたいご注意とヒント	7
重要：インクの特性と注意事項	7
透明なメディアを使用する場合のご注意.....	7
印刷面の脱脂.....	8
印刷データの作成.....	9
印刷データ作成の考え方.....	9
特色用スポットカラーを使って印刷データを作成する	9
第 2 章 印刷編.....	15
はじめに.....	16
印刷を始める前に.....	16
メディアについて.....	16
印刷モードについて	16
ホワイトを使って印刷する.....	18
ホワイトのみで印刷する.....	18
ホワイトと CMYK を同時に印刷する	20
グロスを使って印刷する.....	24
光沢仕上げ印刷（ホワイト／CMYK →グロス）.....	24
マット仕上げ印刷（ホワイト／CMYK →グロス）.....	27
マット仕上げ印刷（CMYK とグロスを一度に印刷する）.....	30
エンボス仕上げ印刷（ホワイト／CMYK →グロス）.....	32
グロスのみで印刷する.....	39
プライマーを使って印刷する	42
プライマーのみで印刷する	42
プライマーと CMYK / ホワイトを同時に印刷する.....	44
印刷開始.....	46
印刷を開始する	46
第 3 章 詳細編.....	49
テクスチャ印刷を行う.....	50
テクスチャ印刷とは	50
テクスチャ印刷のパターンを確認する	50
テクスチャを使ったデータを印刷する	52
より進んだ印刷設定.....	55
ジョブごとに印刷設定を行う.....	55
CMYK データとホワイト／グロスデータを VersaWorks で合成する.....	56
特色版を生成する.....	58
特色版の位置を補正する.....	60
特色版のサイズを補正する	62

本書は、VersaUV シリーズ共通のマニュアルです。本書内のイラストはおもに LEC-540 のものを使用しています。本書では、コンピュータの画面上で「Roland VersaWorks」、「Roland VersaWorks Dual」と表記されている場合を除いて、「Roland VersaWorks」と「Roland VersaWorks Dual」を「VersaWorks」と表記しています。

本ソフトウェアおよび本マニュアルの著作権は、ローランド ディー・ジー・株式会社 にあります。本ソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。

Roland VersaWorks および Roland VersaWorks Dual は、ローランド ディー・ジー・株式会社の登録商標です。

Windows® は、米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Pentium® は、米国インテル社の登録商標です。

Macintosh は、米国 Apple Inc. の登録商標です。

Adobe、PostScript、PostScript 3、及び Illustrator は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国々における商標または登録商標です。©2007 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

第1章 準備編

本書の前提と関連マニュアル	4
本書の前提	4
関連マニュアルについて	4
特色インクの特長と印刷方法	5
特色インクの特長	5
ホワイトインクを使った印刷方法	5
グロスインクを使った印刷方法	6
プライマーを使った印刷方法	6
作業前に知っておきたいご注意とヒント	7
重要：インクの特性と注意事項	7
透明なメディアを使用する場合のご注意	7
印刷面の脱脂	8
印刷データの作成	9
印刷データ作成の考え方	9
特色用スポットカラーを使って印刷データを作成する	9

本書の前提と関連マニュアル

1

準備編

本書の前提

- 本書は、Roland VersaWorks および Roland VersaWorks Dual に対応しています。
- 本書では、Roland VersaWorks および Roland VersaWorks Dual を総称して「VersaWorks」と呼びます。
- 本書に掲載されている説明や操作手順は、次の作業がすべて完了していることを前提としています。
 - ▶ プリンターの組み立てや設置など、ハードウェアのセットアップ。
 - ▶ VersaWorks のコンピューターへのインストール、プリンターとコンピューターの接続などのソフトウェアのセットアップ。
 - ▶ プリンターの操作方法の習得（プリンターの操作方法については、プリンター付属のマニュアルを参照してください）。
- 本書は、以下に対応しています。使用していないインクについて書かれている箇所は読み飛ばしてください。
 - ▶ ホワイトインクとグロスインクとプライマーを搭載したプリンター
 - ▶ ホワイトインクとグロスインクを搭載したプリンター
 - ▶ ホワイトインクとプライマーを搭載したプリンター
 - ▶ ホワイトインクを搭載したプリンター
 - ▶ グロスインクを搭載したプリンター

関連マニュアルについて

VersaWorks の基本的な使い方や、詳細な使い方については下記を参照してください。

ヘルプ

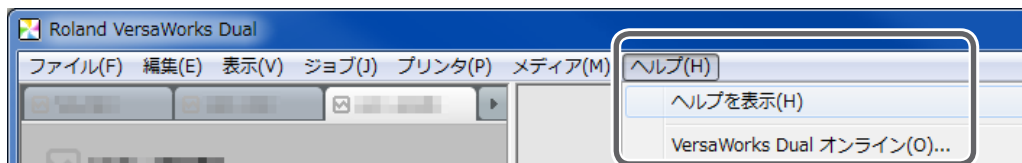
ソフトウェアに組み込まれたマニュアルです。ソフトウェアの基本的な使い方から詳細な設定方法まで、ソフトウェアの機能のすべてについての説明が記載されています。

VersaWorks/VersaWorks Dual オンライン

弊社ウェブサイト上のページです。出力用データ作成のノウハウやソフトウェアの最新情報などを掲載しています。

URL : <https://www2.rolanddg.co.jp/support/color/rvw/index.html>

ヘルプと VersaWorks/VersaWorks Dual オンラインは、VersaWorks のメインメニューから表示できます。



特色インクの特長と印刷方法

1

準備編

特色インクの特長

ホワイト

プリンターで使用する専用ホワイトインクは高濃度と高隠ぺい性を実現した、ホワイトと CMYK カラーを重ねて印刷しても美しい表現が可能なインクです。透明フィルムへの印刷に適しており、店舗内装やディスプレイ、ペットボトルなどのパッケージ、ステッカーなどの製作に活用できます。

グロス

プリンターで使用する専用グロスインクは無色透明のインクで、出力物に光沢感を与えたり耐候性や堅ろう性を向上させたりすることができるインクです*。また、印刷設定によってあえて光沢感をなくしてマット仕上げにしたり、グロスインクを塗り重ねて印刷面を盛り上げたエンボス仕上げにすることもできます。

※ 使用するメディアや環境などの印刷条件によって、光沢感、耐候性、堅ろう性は異なります。

プライマー

プライマーは無色透明の塗布材で、インクの下地として使用します。プライマーを下地にすることで、ガラスなど UV インクで印刷できなかった素材にも印刷できるようになります。

※ 素材によっては効果を得にくいものもあります。必ず試し印刷をして、効果を確認してください。

ホワイトインクを使った印刷方法

ホワイトのみを印刷する

ホワイトインクのみで印刷することもできます。印刷面の反対側から見せるには、画像を反転して印刷します。

⇒ P. 18「ホワイトのみで印刷する」

ホワイトと CMYK で印刷する

ホワイトインクと CMYK インクを使う部分を同時に印刷します。同時に印刷することで、送りによるズレのない安定した高精細な印刷ができます。透明フィルムを使って印刷する場合は、画像を反転したりホワイトと CMYK の塗り順を変えたりすることで印刷面の反対側から見せるという表現もできます。

⇒ P. 20「ホワイトと CMYK を同時に印刷する」

グロスインクを使った印刷方法

光沢仕上げ印刷

出力物に光沢感を持たせた仕上がりにする印刷方法です。グロスインクのコーティングにより、光沢感のある仕上がりと高い耐候性や堅ろう性を得ることができます。

ホワイトや CMYK インクによる出力物をいったん引戻してからグロスインクを塗り重ねます。

☞ P. 24「光沢仕上げ印刷（ホワイト／CMYK→グロス）」

グロスインクのみでの印刷も可能です。

☞ P. 39「グロスのみで印刷する」

マット仕上げ印刷

光沢感をなくして落ち着きのあるマット仕上げにする印刷方法です。ホワイトや CMYK にグロスインクを塗り重ねて対候性や堅ろう性を高めながら光沢感は抑える、といった表現が可能です。

ホワイトインクを使用する場合は、ホワイトや CMYK インクによる出力物をいったん引き戻してからグロスインクを塗り重ねます。

☞ P. 27「マット仕上げ印刷（ホワイト／CMYK→グロス）」

ホワイトインクを使用しない場合、引き戻しをせずに CMYK インクとグロスインクを一度に印刷できます。

☞ P. 30「マット仕上げ印刷（CMYK とグロスを一度に印刷する）」

グロスインクのみでの印刷もできます。

☞ P. 39「グロスのみで印刷する」

エンボス仕上げ印刷

グロスインクを塗り重ねて出力物に立体感を与えることのできる印刷方法です。印刷面を盛り上げる高さ、塗り重ねる回数を VersaWorks で設定することで決めます。この設定回数分塗り重ねてから、最後にもう一度グロスインクを塗り重ねて光沢仕上げにします。

ホワイトや CMYK インクによる出力物をいったん引戻してからグロスインクを塗り重ねます。

☞ P. 32「エンボス仕上げ印刷（ホワイト／CMYK→グロス）」

グロスインクのみでの印刷も可能です。

☞ P. 39「グロスのみで印刷する」

プライマーを使った印刷方法

プライマーだけを印刷する

プライマーだけを使って印刷します。プライマーを印刷した後に、他の色を印刷します。

☞ P. 42「プライマーのみで印刷する」

プライマーとその他のインクを同時に印刷する

プライマーを下地にして、他の色と同時に印刷します。

☞ P. 44「プライマーと CMYK／ホワイトを同時に印刷する」

作業前に知っておきたいご注意とヒント

1

準備編

重要：インクの特性と注意事項

ホワイトインクの取り扱いには、他の色のインクにはない大切なご注意があります。必ずインクの特性をご理解いただいたうえでお使いください。

ホワイトインクは沈殿します

放置すると沈殿した成分が固まり、プリントヘッドが目詰まりするなどの故障につながります。必ずこの説明書のご注意をお守りください。

メンテナンスが必要です

- ・メイン電源は常にオンにしておいてください。メイン電源をオフにすると自動メンテナンス機能が働かなくなり、故障の原因になります。
- ・1週間に一度はプリンターを動かすことをおすすめします。
- ・長期間使用しないと、インクが沈殿して吐出が不安定になること（ドット抜けなど）があります。そのような場合は、沈殿して固まったインクを排出する必要があります。お使いのプリンターのユーザーズマニュアルを参照して適切なクリーニングを実施してください。
- ・クリーニングを実施してもドット抜けなどが直らない場合は、本機をお買い上げの販売店または当社コールセンターまでご連絡ください。

透明なメディアを使用する場合のご注意

※ LEF シリーズでは、この内容は該当しません。

透明なメディアの取り付け

- ・ [エッジ ケンシュツ] メニューを「ムコウ」に設定してください。この設定をしないと、透明なメディアはセットアップできません。
- ・ メディアの前端から出力開始位置までの余白を 75mm 以上とってください。

メディアの残量に注意すること

- ・ 透明メディアの場合、メディアの有無は検出されません。メディアがなくなっても印刷動作が止まらず、プラテンなどをインクで汚したり、インクが内部に入って機器を傷めたりする恐れがあります。
- ・ 印刷の途中でメディアがなくなったら、直ちに印刷を中断してください。

ミドルピンチローラーの使用について

ミドルピンチローラーを使うとメディアに押さえた跡が少し残りますが、透明なメディアではこの跡が目立ちやすくなります。また、印刷後に透明なメディアを引き戻すと、ミドルピンチローラーが印刷面を汚します。透明なメディアを使用するときは、左右2つのピンチローラーでメディアを固定してください。ただし、使用するメディアによっては、メディアが浮き上がったり、印刷、搬送、カット品質などに影響

が出たりする場合があります。お使いのメディアを確認したうえで使用してください。

クロップマークの自動読み取りについて

透明なメディアなど、メディアによってはクロップマークの自動読み取りはできません。この場合は、手で位置合わせをしてください。

印刷面の脱脂

プライマーを使用する場合、印刷面を脱脂してから印刷するとインクの定着性をより高める効果があります。プライマー以外のインクでも、印刷面を脱脂することでインクの定着性が高まる場合があります。

印刷データ作成の考え方

特色用のスポットカラーを使用する

専用のスウォッチライブラリから特色用のスポットカラーを選択し、印刷データ上でスポットカラーを適用します。

- ホワイト：RDG_WHITE
- グロス：RDG_GLOSS
- プライマー：RDG_PRIMER (VersaWorks Dual でのみ使用できます)

☞ P.9「特色用スポットカラーを使って印刷データを作成する」

VersaWorks Dual で特色版を生成する

特色用のスポットカラーを使用していない印刷データ（CMYKのみの印刷データ）でも、VersaWorks Dualの機能を使って特色版（ホワイト、グロス、プライマー）を生成できます。

※ VersaWorks Dual のみの機能です。VersaWorks ではこの機能は使えません。

☞ P.58「特色版を生成する」

特色用スポットカラーを使って印刷データを作成する

ホワイトインクやグロスインクを使用して印刷するためのデータを作成します。

なお、ここでの説明は Adobe Illustrator CS6 を使用します。描画の方法や各パレットの扱い方などの詳細は、Adobe Illustrator CS6 の取扱説明書またはオンラインヘルプ等をご覧ください。バージョンの異なる Adobe Illustrator をご使用の場合は、以下の説明とは一部の操作が異なります。

1. 専用のスウォッチライブラリとカラーライブラリを開く。

① ライブラリを選択するダイアログを開く。

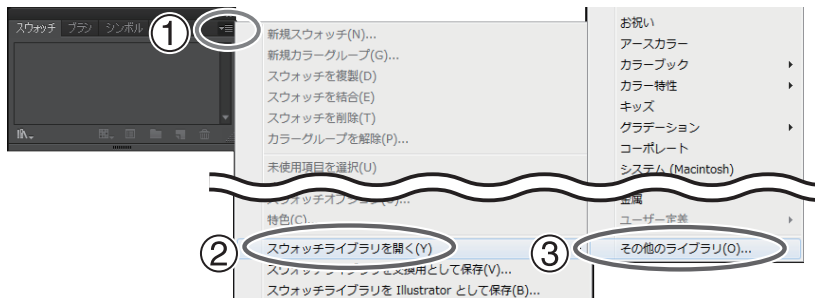
① スウォッチパレットのメニューを開く。

スウォッチパレットは、メニューから [ウィンドウ] → [スウォッチ] を選択すると表示されます。

② [スウォッチライブラリを開く] をクリックする。

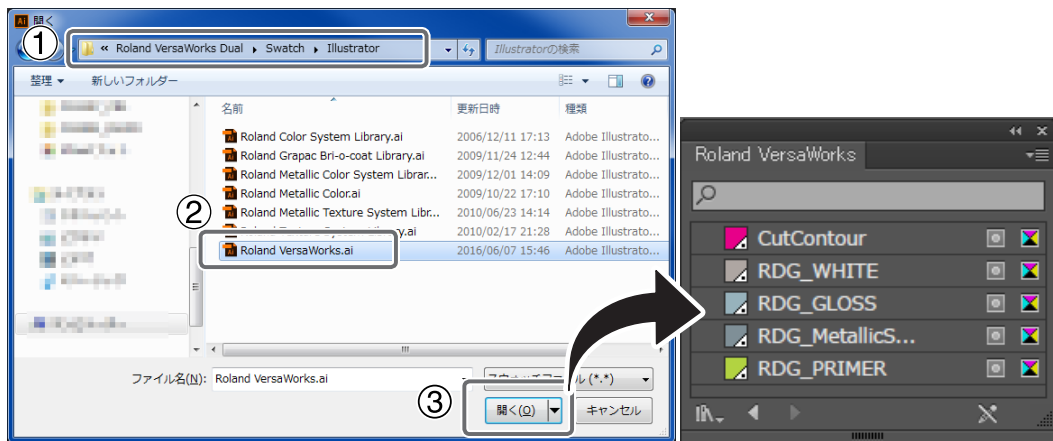
③ [その他のライブラリ] をクリックする。

「開く」(または「ライブラリを選択」) ダイアログが表示されます。



2 専用のスウォッチライブラリを開く。

- ① 「コンピューター」 → 「OS (C:)」 → 「Program Files (64ビット OS の場合は「Program Files(x86)」) → 「Roland VersaWorks (または「Roland VersaWorks Dual)」) → 「Swatch」 → 「Illustrator」の順にフォルダを開く。
- ② 「Roland VersaWorks.ai」を選択する。
お使いのコンピューターの設定によっては「.ai」が表示されていないことがあります。
- ③ [開く]をクリックする。
「RDG_WHITE」「RDG_GLOSS」「RDG_PRIMER」が入ったスウォッチライブラリが開きます。



メモ

手順②で選択した「.ai」ファイルを下記のフォルダに保存すれば、Adobe Illustratorのライブラリにそれぞれのスウォッチライブラリを登録できます。登録すると、Adobe Illustratorを起動するたびにファイルを探す必要がなくなり、スウォッチパレットメニューから直接ライブラリを開けるようになります。

C:\Program Files\Adobe\Adobe Illustrator CS6\Presets\ (言語の短縮名称) ¥スウォッチ

※ 「C」はお使いのコンピューターのローカルディスクです。

※ 64ビット OS の場合、「Program Files」は「Program Files(x86)」です。

※ 「言語の短縮名称」はお使いの言語によって異なります。

※ お使いの Illustrator のバージョンによっては、「¥Presets\ (言語の短縮名称) ¥スウォッチ」が「¥プリセット ¥スウォッチ」の場合があります。

2. イラストを作成し、印刷したい色に合わせてスポットカラーを指定する。

- ① イラストを作成する。
イラストの描画は、必ず CMYK モードで行ってください。
- ② 印刷したい色に合わせてそれぞれのスポットカラーを指定する。

使用したいインクまたはカラー	スポットカラー名
ホワイトインク	RDG_WHITE
グロスインク	RDG_GLOSS
プライマー	RDG_PRIMER

※「RDG_PRIMER」は VersaWorks Dual でのみ使用できます。



3. PS ファイルを作成する。

※ VersaWorks Dual をお使いの場合は、PS ファイルではなく PDF ファイルとして保存することをおすすめします。

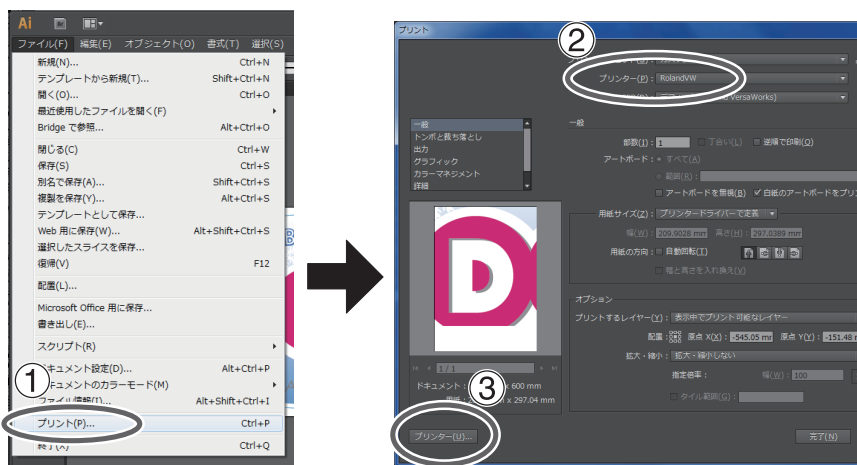
① 出力先に「Roland VWD」または「Roland VW」を選択する。

① メニューから「ファイル」→「プリント」を選択する。

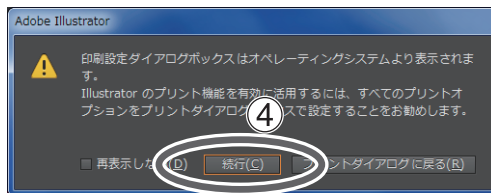
② 「Roland VW」を選択する。

ニックネームを設定している場合、もしくは、複数のプリンターを接続している場合は、「Roland VW_(出力したいプリンターのニックネーム)」を選択します。

③ [プリンター] をクリックする。

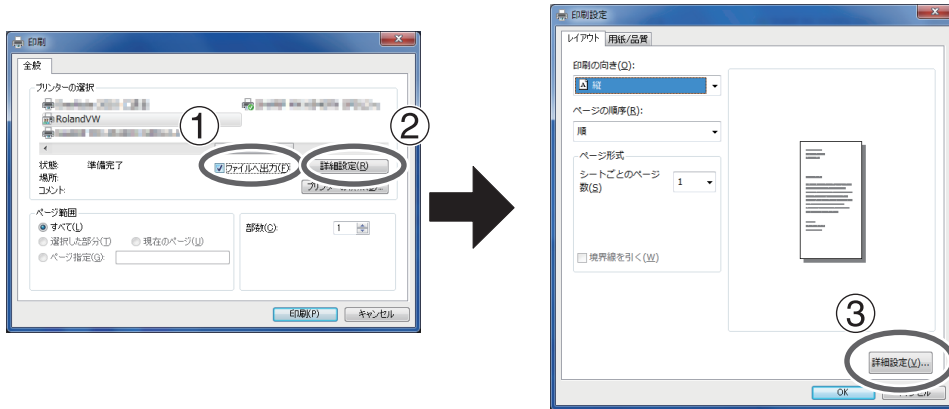


④ [続行] をクリックする。

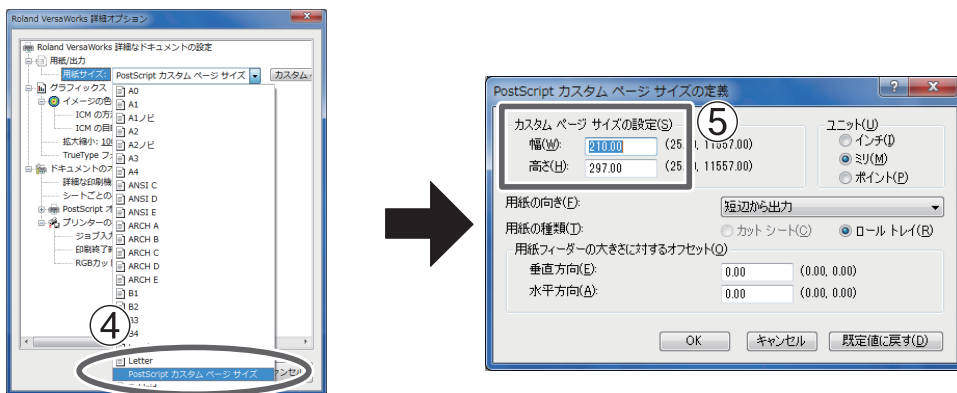


2 出力データのページサイズを設定する。

- ① 「ファイルへ出力」にチェックを付ける。
- ② 「詳細設定」をクリックする。
- ③ 「レイアウト」タブ内の「詳細設定」をクリックする。



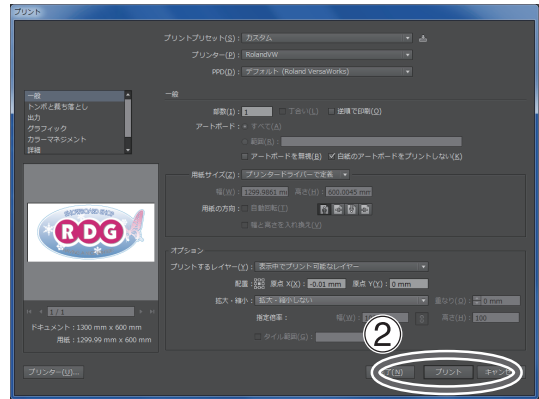
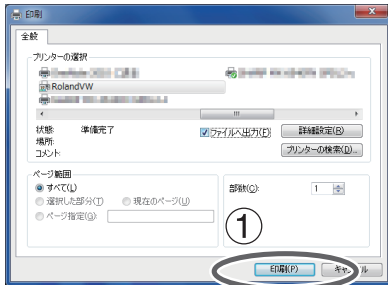
- ④ 「用紙サイズ」として「PostScript カスタムページサイズ」を選択する。
- ⑤ 「カスタムページサイズの設定」の「幅」と「高さ」の各欄をそれぞれ入力する。
手順 2. で作成したイラストと同サイズの数値を入力してください。



- ③ [OK] を 3 回クリックして、「PostScript カスタムページサイズの定義」、「Roland VersaWorks 詳細オプション」、「印刷設定」の各ダイアログを閉じる。
「印刷」ダイアログに戻ります。

4 出力データをファイルとして出力する。

- ① [印刷] をクリックする。
- ② [プリント] をクリックする。



③ 保存先とファイル名を指定する。

例：保存先フォルダ「C: ¥ white-gloss_print」、ファイル名「white-gloss_print.ps」

④ [保存] をクリックする。

指定したフォルダに PS ファイルが作成されます。



第2章 印刷編

はじめに.....	16
印刷を始める前に.....	16
メディアについて.....	16
印刷モードについて.....	16
ホワイトを使って印刷する.....	18
ホワイトのみで印刷する.....	18
ホワイトと CMYK を同時に印刷する.....	20
グロスを使って印刷する.....	24
光沢仕上げ印刷（ホワイト / CMYK →グロス）.....	24
マット仕上げ印刷（ホワイト / CMYK →グロス）.....	27
マット仕上げ印刷（CMYK とグロスを一度に印刷する）.....	30
エンボス仕上げ印刷（ホワイト / CMYK →グロス）.....	32
グロスのみで印刷する.....	39
プライマーを使って印刷する.....	42
プライマーのみで印刷する.....	42
プライマーと CMYK / ホワイトを同時に印刷する.....	44
印刷開始.....	46
印刷を開始する.....	46

はじめに

印刷を始める前に

- ・ ホワイトインクカートリッジだけをいったん抜き、インクカートリッジを 50 回（15 秒程度）振ってから再び差し込んでください。
- ・ ホワイト以外は毎回振る必要はありませんが、新品を取り付けるときには振ってください。

インクの成分が沈殿していると、正常な色で印刷ができません。インクの成分がよく混ざるように、インクカートリッジの両端 5cm の振りで水平に振ります。

ホワイトインクは成分が沈殿しやすい性質を持っています。その日に作業を始める前に、上記を必ず行ってください。放置すると沈殿した成分が固まり、故障などトラブルの原因になります。

メディアについて

メディアは用途に合わせて様々な紙質の種類を選択できます。メディアの選定にあたっては、必ずテストを行い、満足できる出力品質が得られるか事前に確認してください。

印刷モードについて

インクの種類や印刷方法によって「印刷モード」を設定します。

印刷モード	使用するインク色と印刷方法	ページ
White	ホワイトのみで印刷します。	P. 18
White → CMYK	ホワイトと CMYK の同時印刷です。 インクはホワイト→CMYK の順に重なります。	P. 20
CMYK → White	ホワイトと CMYK の同時印刷です。 インクは CMYK→ホワイトの順に重なります。	P. 20
GlossVarnish	グロスインクによる光沢仕上げです。 ホワイトや CMYK による印刷を行った後にいったん用紙を引き戻し、グロスインクを塗り重ねます。 グロスインクのための印刷もできます。(*)	P. 24 (*)P. 39
MatteVarnish	グロスインクによるマット仕上げです。 ホワイトや CMYK による印刷を行った後にいったん用紙を引き戻し、グロスインクを塗り重ねます。 グロスインクのための印刷もできます。(*)	P. 27 (*)P. 39
CMYK → MatteVarnish	グロスインクによるマット仕上げです。 CMYK とグロスインクの印刷は同時に行われますが、 インクは CMYK→グロスの順に重なります。	P. 30

印刷モード	使用するインク色と印刷方法	ページ
Embossing	グロスインクによるエンボス仕上げです。 ホワイトや CMYK による印刷を行った後にいったん用紙を引き戻しグロスインクを塗り重ねます。 グロスインクのための印刷もできます。(*)	P. 32 (*)P. 39
Primer1	プライマーのみで印刷します。 Primer1 と Primer2 では仕上がりの風合いとインクの定着性が異なります。また、Primer1 と Primer2 を順番に印刷することもできます。Primer1 と Primer2 を重ねることで、それぞれ単独で印刷したときの風合いや定着性と異なる効果がでることがあります。風合いや定着性はお使いのメディアによって違いがありますので、それぞれの特性に合わせて選択してください。	P. 42
Primer2		
Primer → CMYK	プライマーと CMYK の同時印刷です。 プライマー→CMYK の順に重なります。	P. 44
Primer → White	プライマーとホワイトの同時印刷です。 プライマー→ホワイトの順に重なります。	P. 44

ホワイトを使って印刷する

ホワイトのみで印刷する

ここではホワイトインクのみを使って印刷する方法を説明します。

手順

① 印刷データを作成する。

⇒ P.9「印刷データの作成」

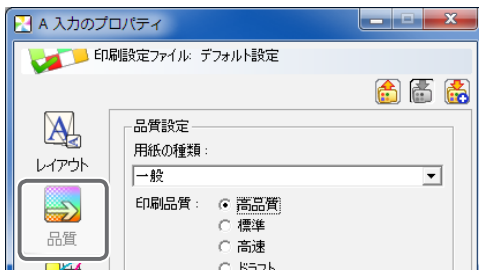
② をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。



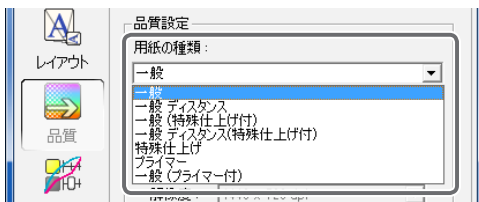
③ 用紙の種類、印刷品質、印刷モードを選択する。

① をクリックする。



② [用紙の種類] を選択する。

一般	ホワイトを使うときの基本設定です。
一般（白高濃度）	「一般」よりもホワイトの濃度を濃く出力します。お使いのプリンターのインクタイプによっては、選択できません。
一般ディスタンス	LEF-12i、LEF-200、LEF-300 をお使いの場合に選択できます。印刷面に起伏があるメディアに印刷する場合に適しています。



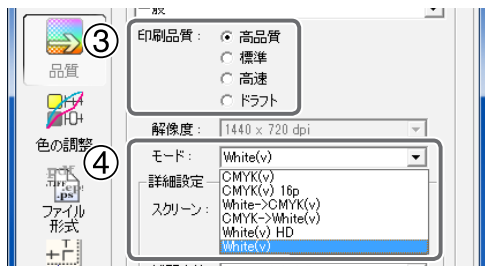
③ [印刷品質] を選択する。

※ ② で選択した [用紙の種類] によって、[印刷品質] に表示される項目は異なります。

④ [モード] で「White」を選択する。

※ [モード] に表示される項目はご使用の機種によって異なります。

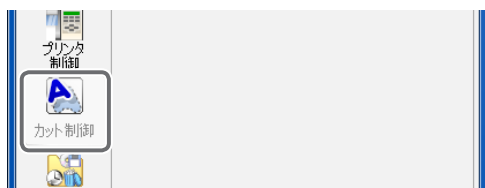
※ [モード] 名の末尾には、「(v)」や「10p」などが付いている場合があります。



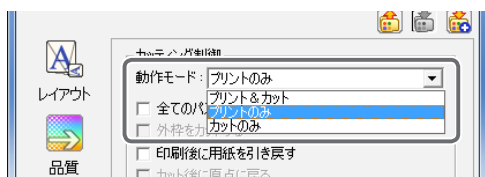
④ プリンターの動作を設定する。

※ LEF シリーズではこの設定はしません。

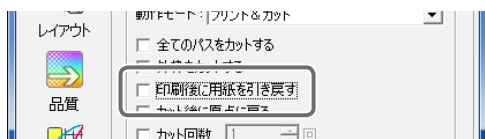
①  をクリックする。



② [動作モード] でプリンターの動作を選択する。

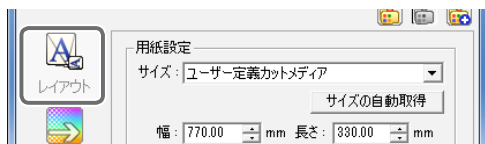


③ [印刷後に用紙を引き戻す] のチェックを外す。



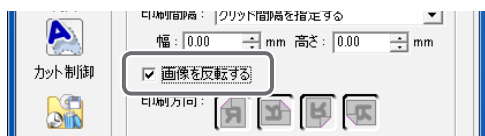
メモ：透明フィルムを使用して印刷面の反対側から見せたい場合

- ①  をクリックする。



- ② [画像を反転する] にチェックを入れる。

はじめから反転した印刷データをつくっている場合は、チェックを入れる必要はありません。



- ⑤ [OK] をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。

これで印刷設定は完了です。印刷を開始する場合は、P.46「印刷開始」に進んでください。

※ ここではホワイトインクを使うために必要な設定だけを行いました。その他の設定については、VersaWorks のオンラインヘルプを参照してください。

ホワイトと CMYK を同時に印刷する

ここではホワイトインクと CMYK インクを使って印刷する方法を説明します。ホワイトインクと CMYK インクのどちらを下地にするか、ということが印刷設定を決めるうえで大切なポイントです。

手順

- ① 印刷データを作成する。

⇨ P.9「印刷データの作成」

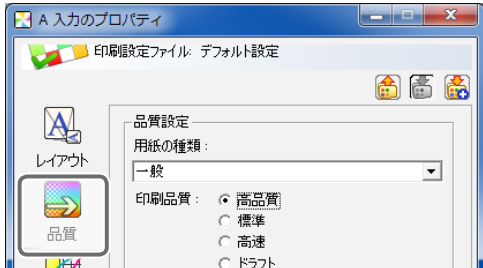
- ②  をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。



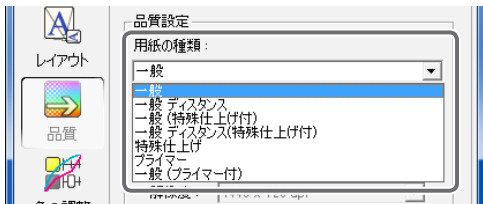
③ 用紙の種類、印刷品質、印刷モードを選択する。

①  をクリックする。



② [用紙の種類] を選択する。

一般	ホワイトを使うときの基本設定です。
一般 (白高濃度)	「一般」よりもホワイトの濃度を濃く出力します。お使いのプリンターのインクタイプによっては、選択できません。
一般ディスタンス	LEF-12i、LEF-200、LEF-300 をお使いの場合に選択できます。印刷面に起伏があるメディアに印刷する場合に適しています。



③ [印刷品質] を選択する。

※ ② で選択した [用紙の種類] によって、[印刷品質] に表示される項目は異なります。

④ [モード] で印刷モードを選択する。

White -> CMYK	ホワイト→CMYKの順に重なります。
CMYK -> White	CMYK→ホワイトの順に重なります。

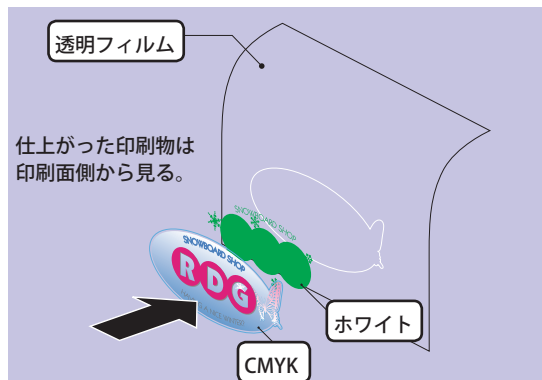
※ ③ で選択した印刷品質によっては、これらのモードが選べません。

※ [モード] に表示される項目はご使用の機種によって異なります。

※ [モード] 名の末尾には、「(v)」や「10p」などが付いている場合があります。

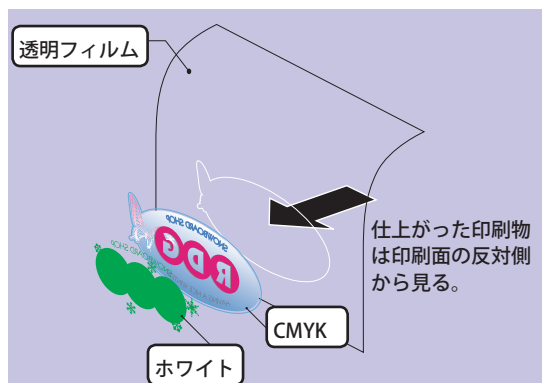


ホワイト → CMYK の順にインクを重ねるイメージ図



※ ホワイトと CMYK は一度に印刷されますが、印刷順を示すために別々の層で表現しています。

CMYK → ホワイトの順にインクを重ねるイメージ図

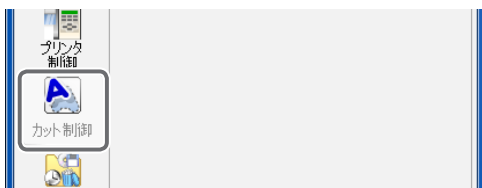


※ ホワイトと CMYK は一度に印刷されますが、印刷順を示すために別々の層で表現しています。

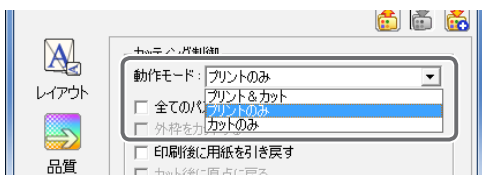
4 プリンターの動作を設定する。

※ LEF シリーズではこの設定はしません。

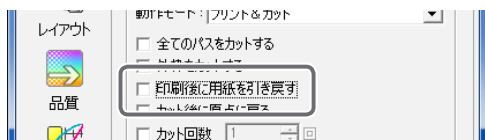
①  をクリックする。



② [動作モード] でプリンターの動作を選択する。



- ③ [印刷後に用紙を引き戻す]のチェックを外す。



メモ

透明フィルムを使用して印刷面の反対側から見せたい場合は、P. 20「メモ：透明フィルムを使用して印刷面の反対側から見せたい場合」を参照してください。

- ⑤ [OK] をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。

これで印刷設定は完了です。印刷を開始する場合は、P. 46「印刷開始」に進んでください。

※ ここではホワイトインクを使うために必要な設定だけを行いました。その他の設定については、VersaWorks のオンラインヘルプを参照してください。

グロスを使って印刷する

光沢仕上げ印刷（ホワイト／CMYK→グロス）

出力物を光沢仕上げにする印刷方法を説明します。ホワイトやCMYKによる印刷を行った後にいったん用紙を引き戻し、グロスインクを塗り重ねます。したがって、ホワイトやCMYKによる印刷のときに「印刷後に用紙を引き戻す」ように設定しておく必要があります。

※ LEF シリーズは「印刷後に用紙を引き戻す」設定は必要ありません。

2

印刷編

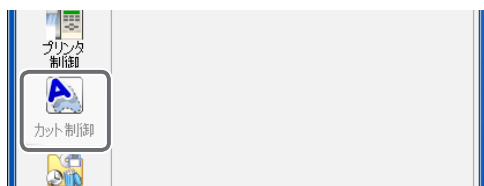
手順

① 「印刷後に用紙を引き戻す」ように設定して、ホワイトまたはCMYKによる印刷を行う。

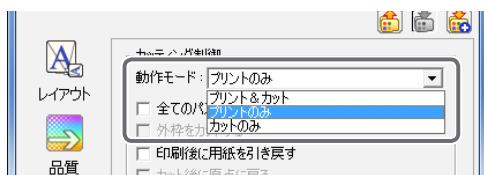
※ LEF シリーズは「印刷後に用紙を引き戻す」設定は必要ありません。

ホワイトを使った印刷方法は P.18「ホワイトを使って印刷する」を参照してください。

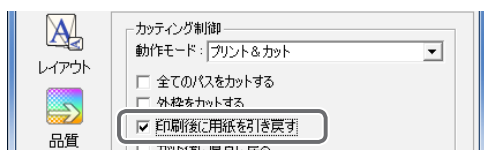
①  をクリックする。



② [動作モード] でプリンターの動作を選択する。

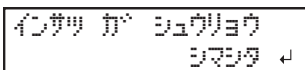


③ [印刷後に用紙を引き戻す] にチェックを入れる。

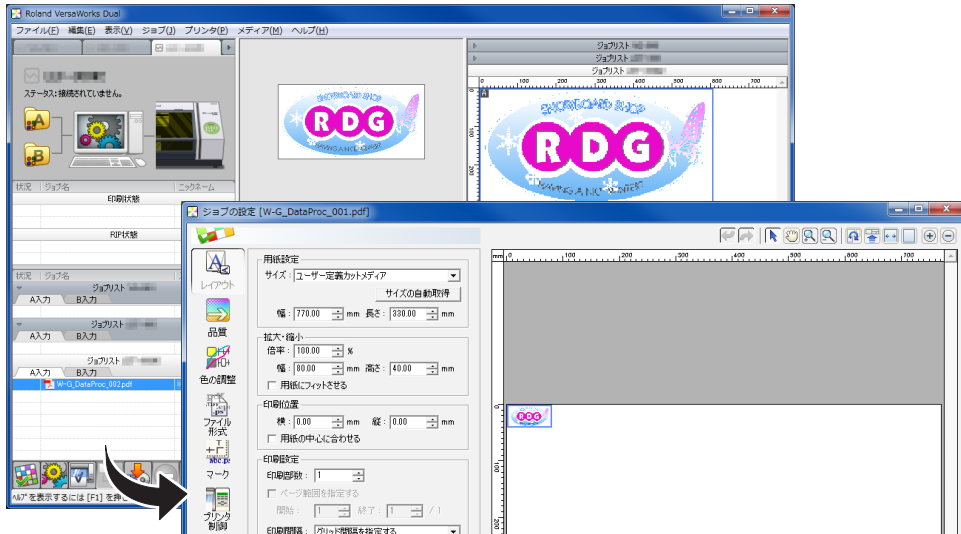


LEF シリーズの場合

印刷終了後、メニュー画面に下図が表示されます。メディアは取り替えずに、プリンタの操作パネルで [ENTER] を押し、手順 ② に進んでください。



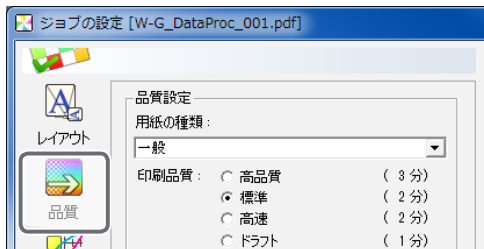
2 印刷ジョブをダブルクリックして「ジョブの設定」画面を開く。



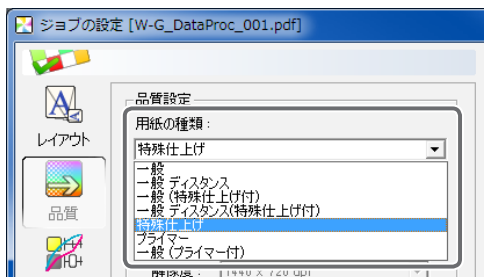
2
印刷編

3 用紙の種類、印刷品質、印刷モードを選択する。

①  をクリックする。



② [用紙の種類] で「特殊仕上げ」を選択する。



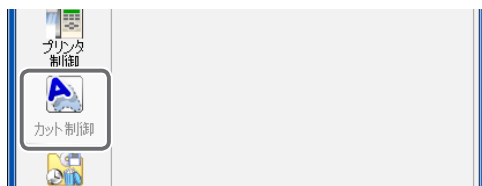
- ③ [印刷品質] を選択する。
 - ④ [モード] で「GlossVarnish」を選択する。
- ※ ③ で選択した印刷品質によっては、このモードが選べません。
- ※ [モード] に表示される項目はご使用の機種によって異なります。
- ※ [モード] 名の末尾には、「(v)」や「10p」などが付いている場合があります。



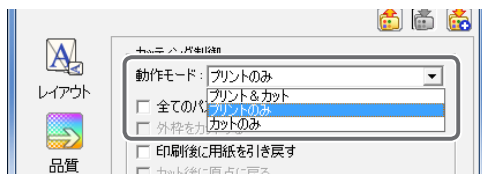
④ プリンターの動作を設定する。

※ LEF シリーズではこの設定はしません。

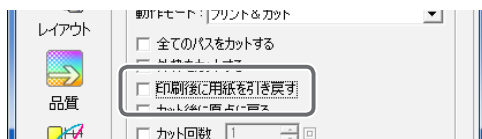
- ①  をクリックする。



② [動作モード] でプリンターの動作を選択する。



③ [印刷後に用紙を引き戻す] のチェックを外す。



⑤ [OK] をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。

これで印刷設定は完了です。印刷を開始する場合は、P.46「印刷開始」に進んでください。

※ ここではグロスインクとホワイトインクを使うために必要な設定だけを行いました。その他の設定については、VersaWorks のオンラインヘルプを参照してください。

マット仕上げ印刷（ホワイト／CMYK →グロス）

出力物をマット仕上げにする印刷方法を説明します。ホワイトやCMYKによる印刷を行った後にいったん用紙を引き戻し、グロスインクを塗り重ねます。したがって、ホワイトやCMYKによる印刷のときに「印刷後に用紙を引き戻す」ように設定しておく必要があります。

※ LEF シリーズは「印刷後に用紙を引き戻す」設定は必要ありません。

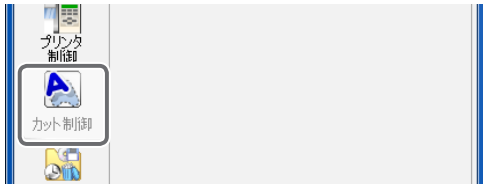
手順

① 「印刷後に用紙を引き戻す」ように設定して、ホワイトまたはCMYKによる印刷を行う。

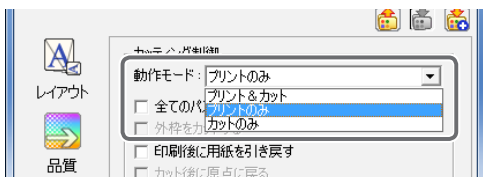
※ LEF シリーズは「印刷後に用紙を引き戻す」設定は必要ありません。

ホワイトを使った印刷方法は P.18「ホワイトを使って印刷する」を参照してください。

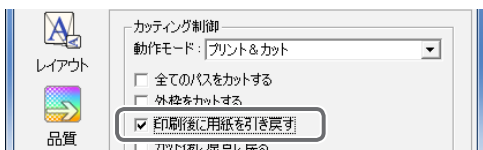
①  をクリックする。



② [動作モード] でプリンターの動作を選択する。

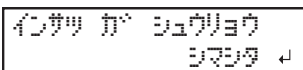


③ [印刷後に用紙を引き戻す] にチェックを入れる。

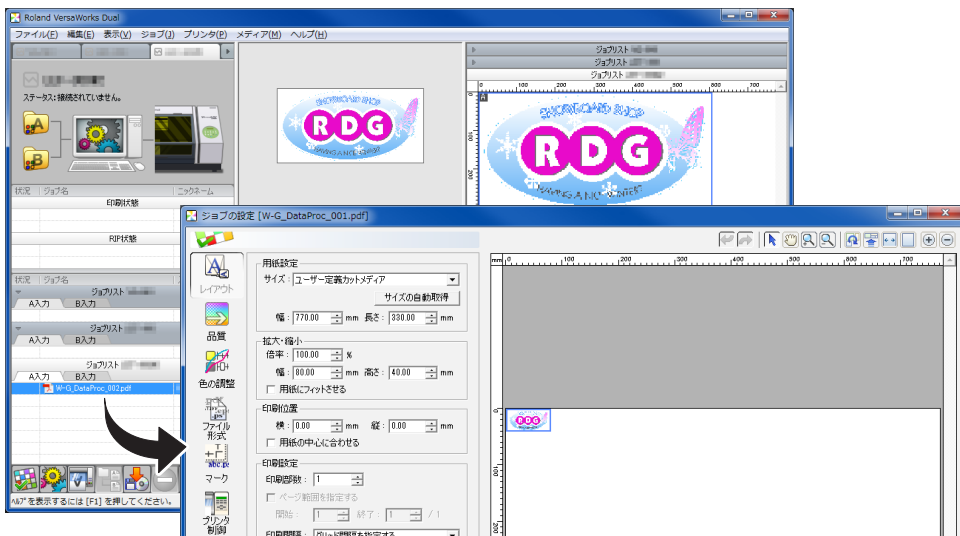


LEF シリーズの場合

印刷終了後、メニュー画面に下図が表示されます。メディアは取り替えずに、プリンタの操作パネルで [ENTER] を押し、手順 ② に進んでください。

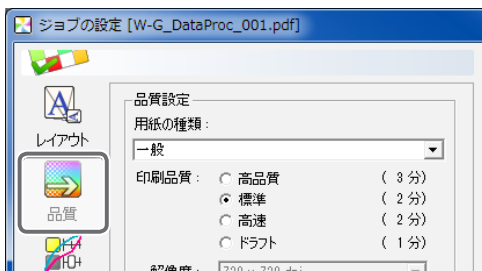


2 印刷ジョブをダブルクリックして「ジョブの設定」画面を開く。

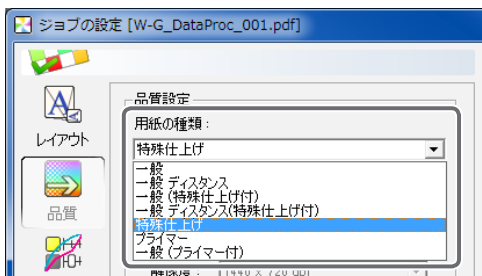


3 用紙の種類、印刷品質、印刷モードを選択する。

①  をクリックする。



② [用紙の種類] で「特殊仕上げ」を選択する。



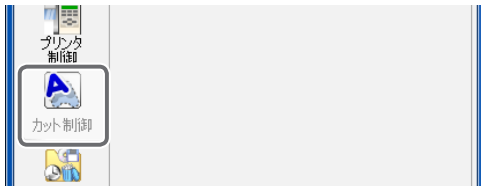
- ③ [印刷品質] を選択する。
- ④ [モード] で「MatteVarnish」を選択する。
- ※ ③ で選択した印刷品質によっては、このモードが選べません。
- ※ [モード] に表示される項目はご使用の機種によって異なります。
- ※ [モード] 名の末尾には、「(v)」や「10p」などが付いている場合があります。



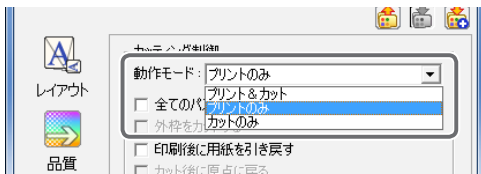
④ プリンターの動作を設定する。

※ LEF シリーズではこの設定はしません。

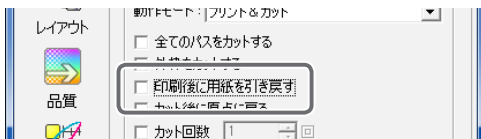
- ①  をクリックする。



② [動作モード] でプリンターの動作を選択する。



③ [印刷後に用紙を引き戻す] のチェックを外す。



⑤ [OK] をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。

これで印刷設定は完了です。印刷を開始する場合は、P.46「印刷開始」に進んでください。

※ ここではグロスインクとホワイトインクを使うために必要な設定だけを行いました。その他の設定については、VersaWorks のオンラインヘルプを参照してください。

マット仕上げ印刷（CMYK とグロスを一度に印刷する）

CMYK とグロスインクを一度に印刷して、出力物をマット仕上げにする印刷方法を説明します。CMYK とグロスインクを一度に印刷できるのは、マット仕上げ印刷のみです。

手順

2

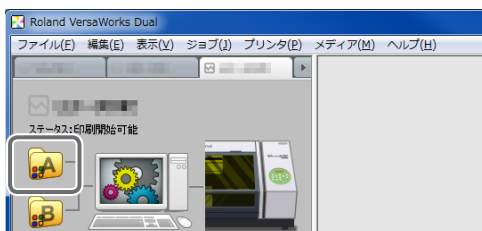
印刷編

① 印刷データを作成する。

☞ P.9「印刷データの作成」

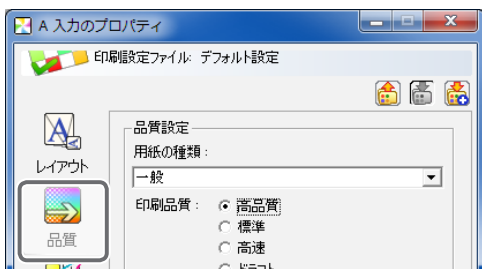
②  をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。



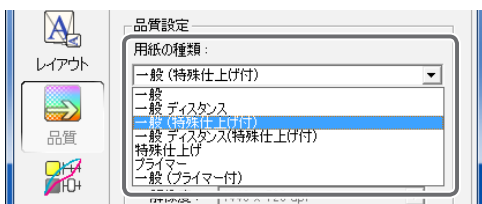
③ 用紙の種類、印刷品質、印刷モードを選択する。

①  をクリックする。



② [用紙の種類] を選択する。

一般（特殊仕上げ付）	マット仕上げ印刷でCMYKとグロスを一度に印刷するときの基本設定です。
一般ディスタンス（特殊仕上げ付）	LEF-12i、LEF-200、LEF-300 をお使いの場合に選択できます。印刷面に起伏があるメディアに印刷する場合に適しています。



③ [印刷品質] を選択する。

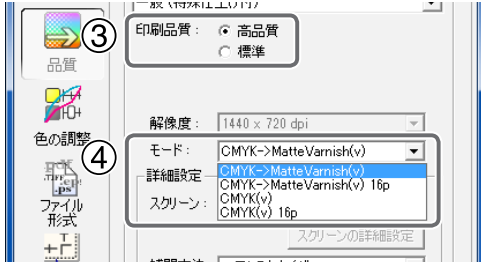
※ ② で選択した [用紙の種類] によって、[印刷品質] に表示される項目は異なります。

④ [モード] で「CMYK->MatteVarnish」を選択する。

※ ③ で選択した印刷品質によっては、このモードが選べません。

※ [モード] に表示される項目はご使用の機種によって異なります。

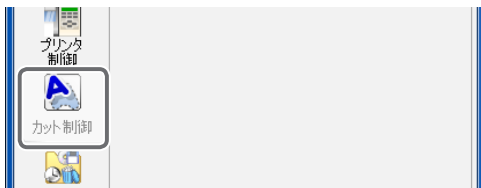
※ [モード] 名の末尾には、「(v)」や「10p」などが付いている場合があります。



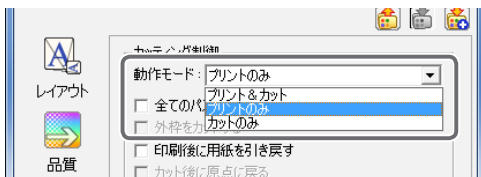
④ プリンターの動作を設定する。

※ LEF シリーズではこの設定はしません。

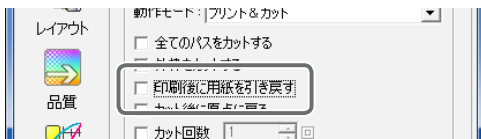
① をクリックする。



② [動作モード] でプリンターの動作を選択する。



③ [印刷後に用紙を引き戻す] のチェックを外す。



⑤ [OK] をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。

これで印刷設定は完了です。印刷を開始する場合は、P.46「印刷開始」に進んでください。

※ ここではグロスインクを使うために必要な設定だけを行いました。その他の設定については、VersaWorks のオンラインヘルプを参照してください。

エンボス仕上げ印刷（ホワイト／CMYK→グロス）

グロスインクを塗り重ねて印刷面を盛り上げる、エンボス仕上げ印刷の方法を説明します。ホワイトやCMYKによる印刷を行った後にいったん用紙を引き戻しグロスインクを塗り重ねます。したがって、ホワイトやCMYKによる印刷のときに「印刷後に用紙を引き戻す」ように設定しておく必要があります。

※ LEF シリーズは「印刷後に用紙を引き戻す」設定は必要ありません。


グロスインクを塗り重ねる回数は、VersaWorks で設定します。この設定回数分マット調で塗り重ねて印刷し、さらにもう一度グロスインクを塗り重ねて表面を光沢仕上げにします。つまり、グロスインクを塗り重ねる回数は「VersaWorks での設定回数分 +1 回」となります。

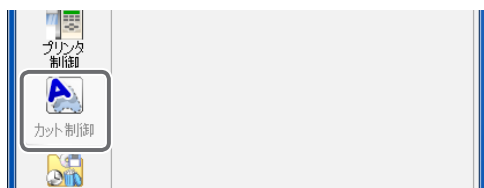
手順

- 1 「印刷後に用紙を引き戻す」ように設定して、ホワイトまたは CMYK による印刷を行う。

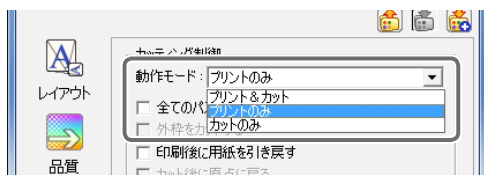
※ LEF シリーズは「印刷後に用紙を引き戻す」設定は必要ありません。

ホワイトを使った印刷方法は P.18「ホワイトを使って印刷する」を参照してください。

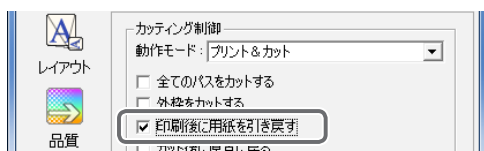
- ①  をクリックする。



- ② [動作モード] でプリンターの動作を選択する。

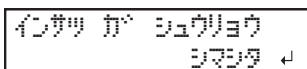


- ③ [印刷後に用紙を引き戻す] にチェックを入れる。

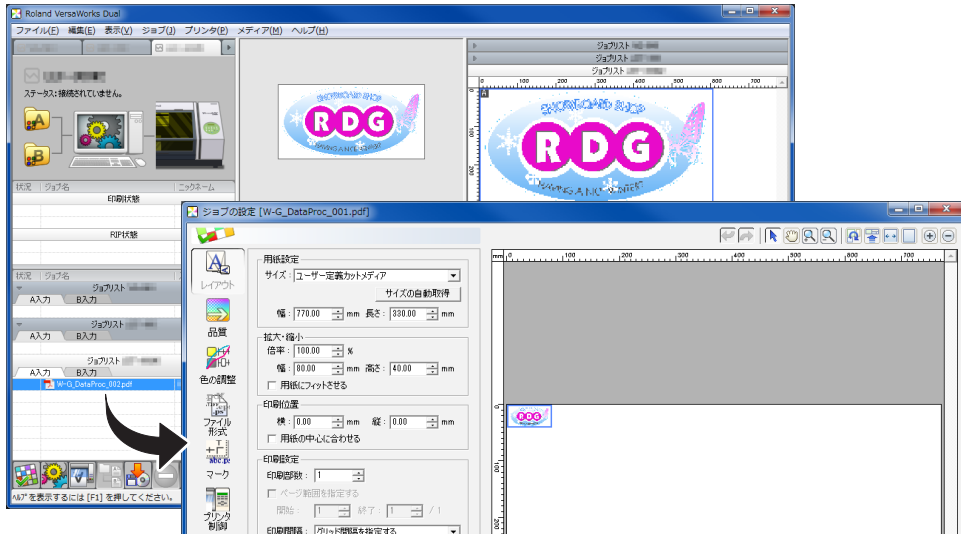


LEF シリーズの場合

印刷終了後、メニュー画面に下図が表示されます。メディアは取り替えずに、プリンターの操作パネルで [ENTER] を押し、手順 ② に進んでください。




2 印刷ジョブをダブルクリックして「ジョブの設定」画面を開く。

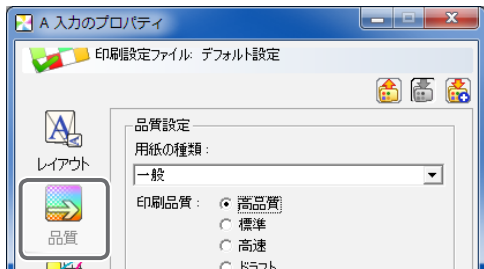


2

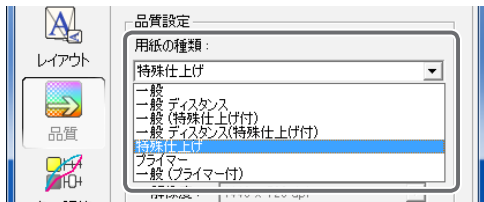
印刷編

3 用紙の種類、印刷品質、印刷モードを選択する。

①  をクリックする。



② [用紙の種類] で「特殊仕上げ」を選択する。

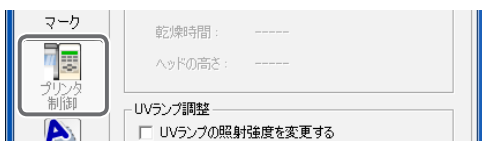


- ③ [印刷品質] を選択する。
 - ④ [モード] で「Embossing」を選択する。
- ※ ③ で選択した印刷品質によっては、このモードが選べません。
- ※ [モード] に表示される項目はご使用の機種によって異なります。
- ※ [モード] 名の末尾には、「(v)」や「10p」などが付いている場合があります。



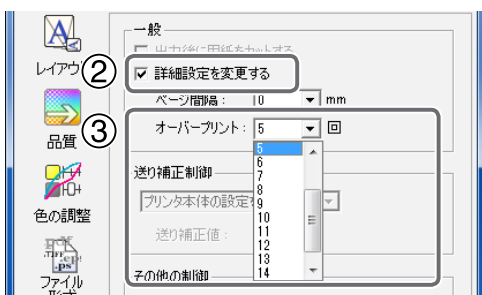
4 オーバープリント回数を設定する。

- ① をクリックする。



- ② [詳細設定を変更する] にチェックを入れる。
- ③ オーバープリントの回数を設定する。

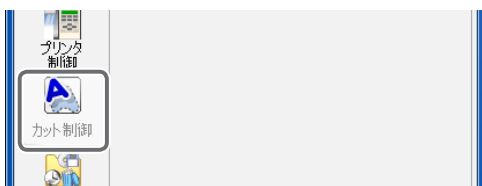
エンボス仕上げのためのオーバープリントは、「設定回数+1回」印刷します。詳細は、P. 36「エンボス仕上げのためのオーバープリントの設定回数とインク厚み」を参照してください。



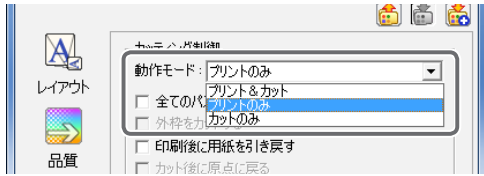
5 プリンターの動作を設定する。

※ LEF シリーズではこの設定はしません。

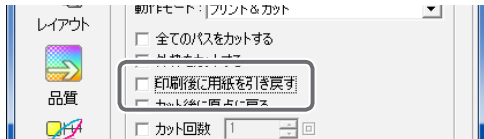
- ① をクリックする。



② [動作モード] でプリンターの動作を選択する。



③ [印刷後に用紙を引き戻す] のチェックを外す。



④ [OK] をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。

これで印刷設定は完了です。印刷を開始する場合は、P. 46「印刷開始」に進んでください。

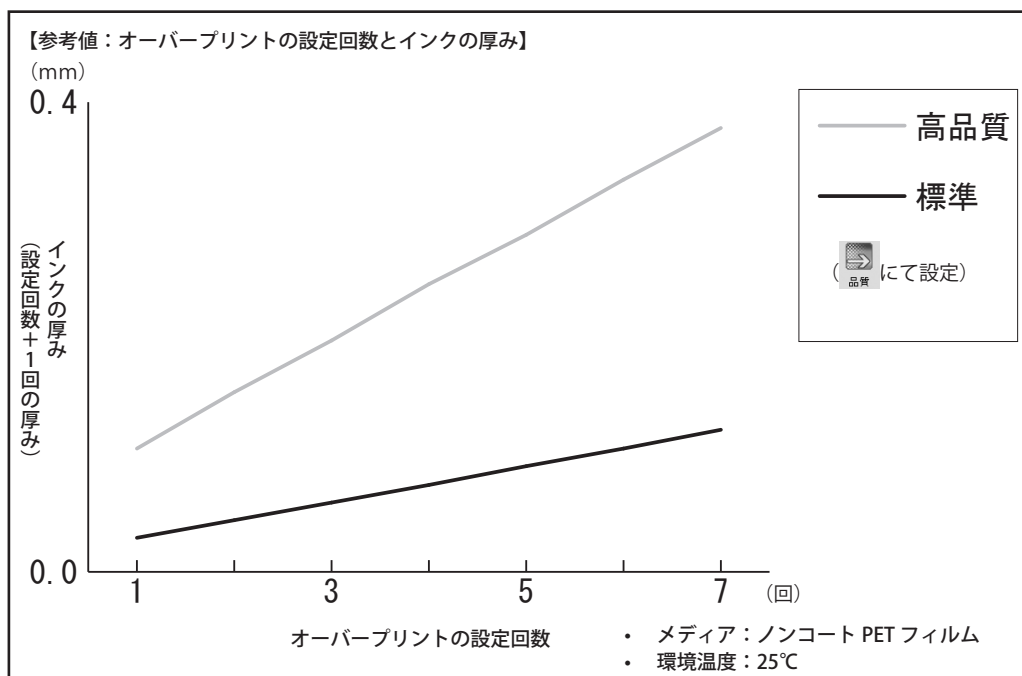
※ ここではホワイトインクを使うために必要な設定だけを行いました。その他の設定については、VersaWorks のオンラインヘルプを参照してください。

エンボス仕上げのためのオーバープリントの設定回数とインク厚み

- ・ エンボス仕上げのためのオーバープリントは、「設定回数 + 1 回」印刷します。
- ・ オーバープリント設定回数によるインクの厚みは、使用するメディアの種類や印刷環境によって異なります。
- ・ 印刷面をこすったり、メディア詰まりを起こしたりした場合は、オーバープリント回数、メディア種類、ヘッド位置を見直してください。ただし、ヘッド位置を高くすると印刷結果が粗くなる場合がありますのでご注意ください。

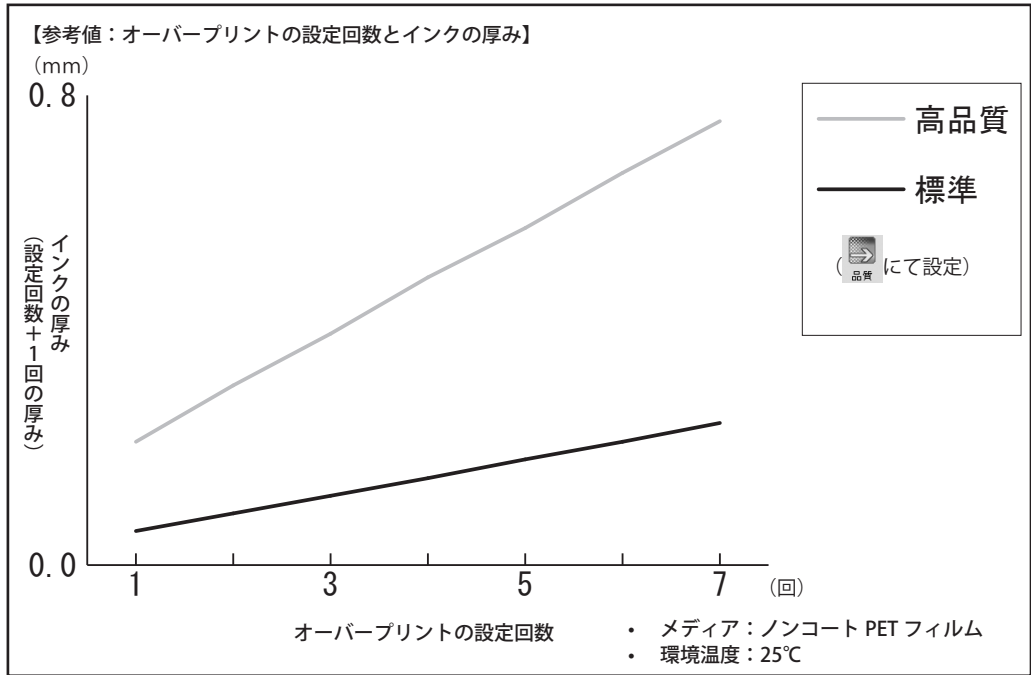
LEC-330 / 540、LEJ-640 の場合

(使用インク：シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、グロス、ホワイト)



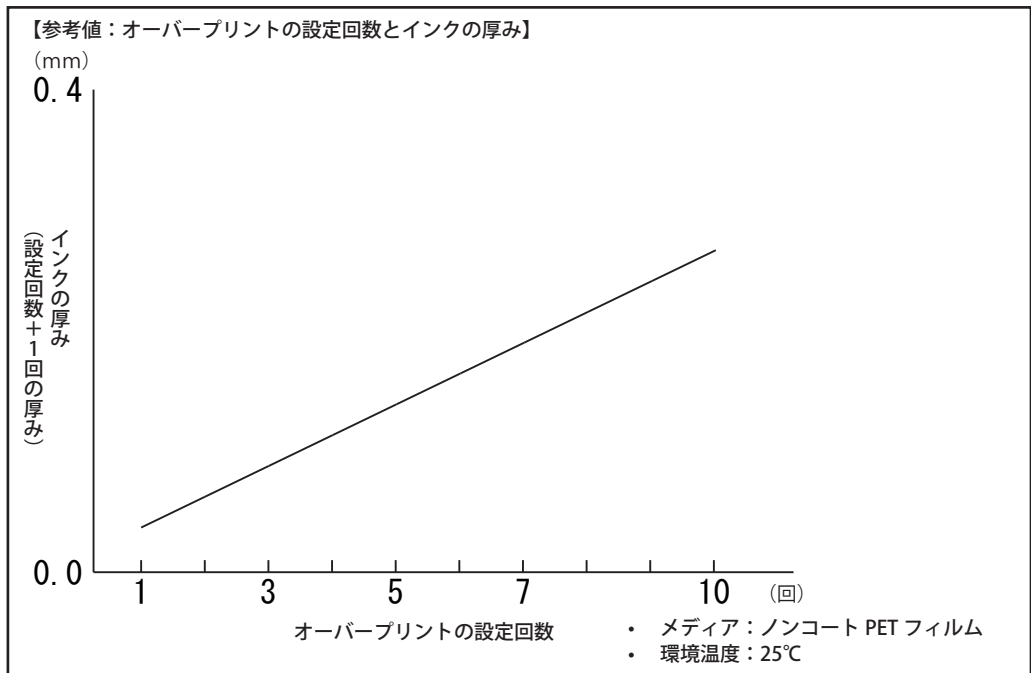
LEC-330 / 540、LEJ-640 の場合

(使用インク：シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、グロス、グロス)



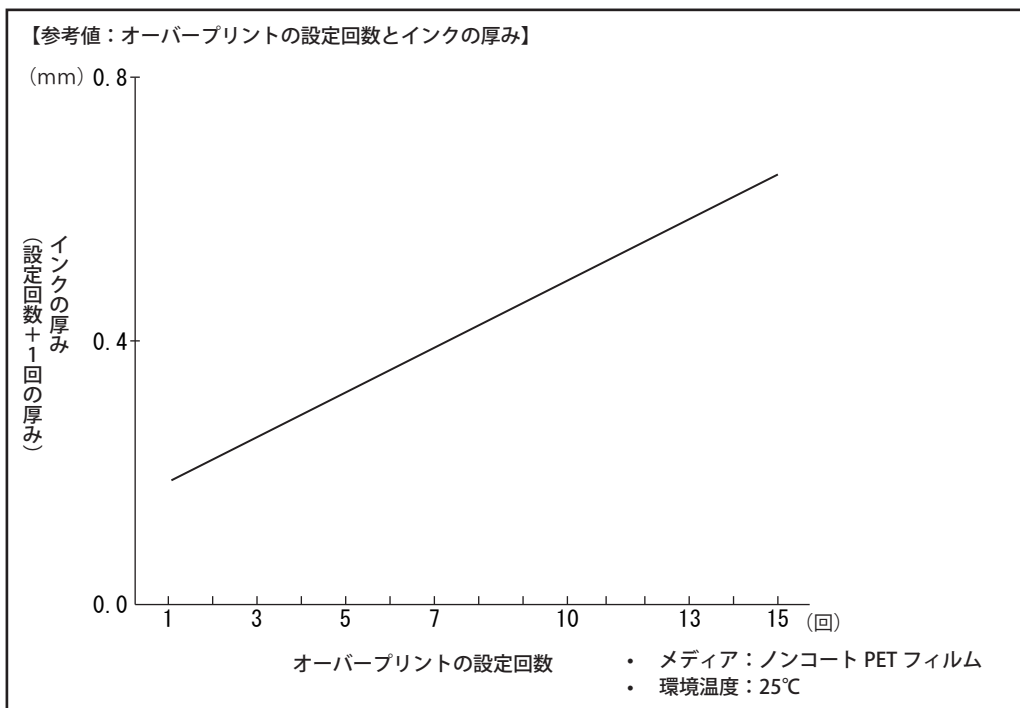
LEF-12i / 200 の場合

(使用インク：シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、グロス、ホワイト)



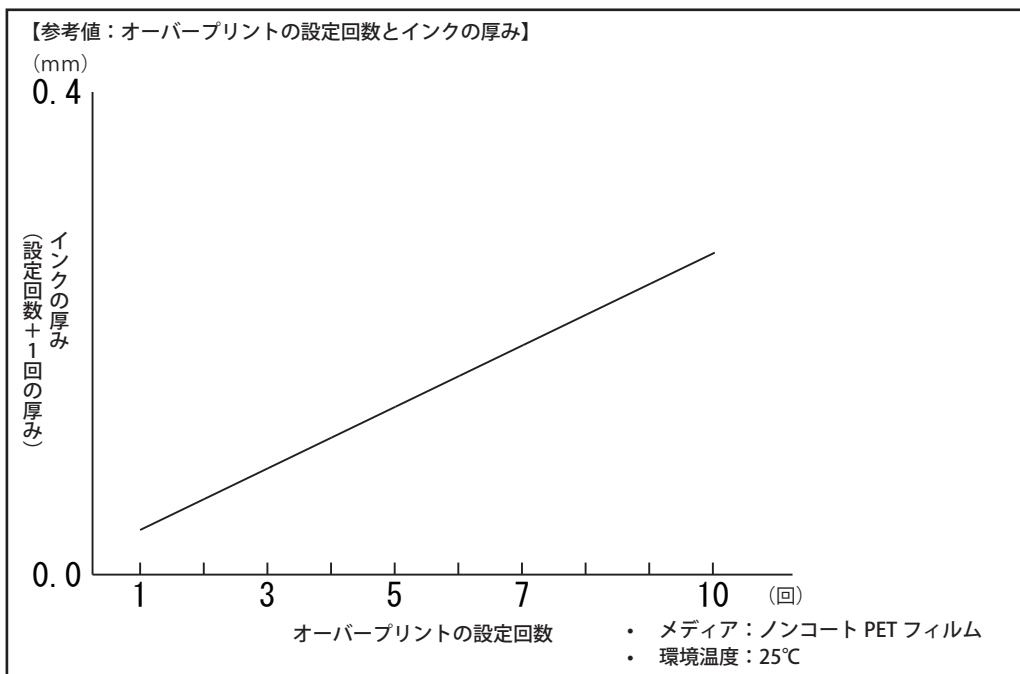
LEF-300 の場合

(使用インク：シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、グロス、グロス、ホワイト)



LEF-300 の場合

(使用インク：シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、グロス、ホワイト、プライマー)



グロスのみで印刷する

光沢仕上げ、マット仕上げ、エンボス仕上げはすべてグロスインクのみを使って印刷することもできます。

手順

① 印刷データを作成する。

⇒ P.9「印刷データの作成」

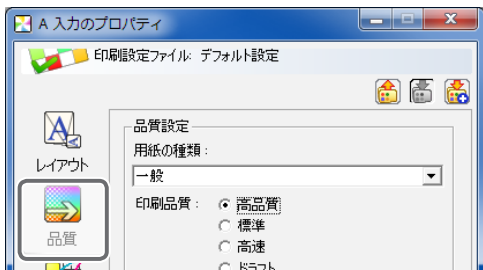
② をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。

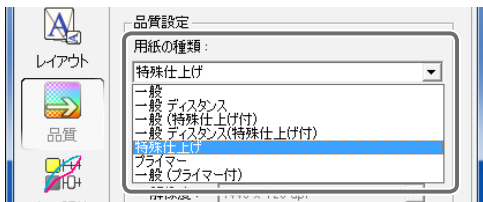


③ 用紙の種類、印刷品質、印刷モードを選択する。

① をクリックする。



② [用紙の種類] で「特殊仕上げ」を選択する。



- ③ [印刷品質] を選択する。
- ④ [モード] で印刷モードを選択する。

GlossVarnish	光沢仕上げ	⇨ P. 24「光沢仕上げ印刷 (ホワイト / CMYK → グロス)」
MatteVarnish	マット仕上げ	⇨ P. 27「マット仕上げ印刷 (ホワイト / CMYK → グロス)」 ⇨ P. 30「マット仕上げ印刷 (CMYK とグロスを一度に印刷する)」
Embossing	エンボス仕上げ	⇨ P. 32「エンボス仕上げ印刷 (ホワイト / CMYK → グロス)」

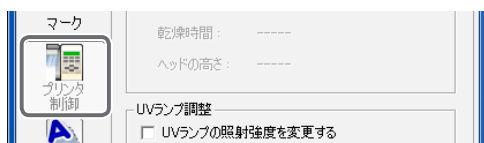
- ※ ③ で選択した印刷品質によっては、これらのモードが選べません。
- ※ [モード] に表示される項目はご使用の機種によって異なります。
- ※ [モード] 名の末尾には、「(v)」や「10p」などが付いている場合があります。



- ④ エンボス仕上げの場合は、オーバープリント回数を設定する。

※ 光沢仕上げとマット仕上げの場合はこの設定は不要です。

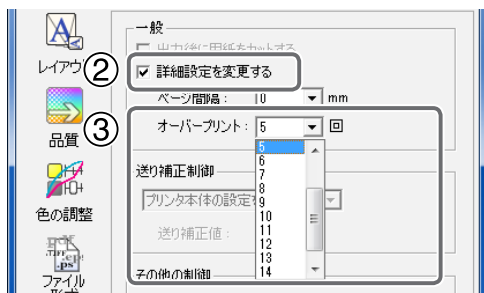
- ① をクリックする。



- ② [詳細設定を変更する] にチェックを入れる。

- ③ オーバープリントの回数を設定する。

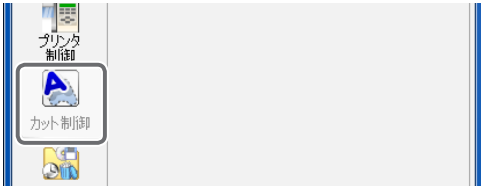
※ エンボス仕上げのためのオーバープリントは、「設定回数 + 1 回」印刷します。詳細は、P. 36「エンボス仕上げのためのオーバープリントの設定回数とインク厚み」を参照してください。



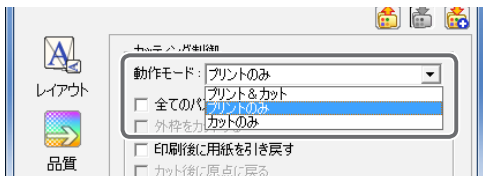
5 プリンターの動作を設定する。

※ LEF シリーズではこの設定はしません。

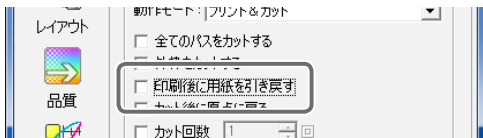
① をクリックする。



② [動作モード] でプリンターの動作を選択する。



③ [印刷後に用紙を引き戻す] のチェックを外す。



メモ

透明フィルムを使用して印刷面の反対側から見せたい場合は、P.20「メモ：透明フィルムを使用して印刷面の反対側から見せたい場合」を参照してください。

6 [OK] をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。

これで印刷設定は完了です。印刷を開始する場合は、P.46「印刷開始」に進んでください。

※ ここではホワイトインクを使うために必要な設定だけを行いました。その他の設定については、VersaWorks のオンラインヘルプを参照してください。

プライマーを使って印刷する

プライマーのみで印刷する

※ 「RDG_PRIMER」は VersaWorks Dual でのみ使用できます。

ここではプライマーのみを使って印刷する方法を説明します。

手順

1 印刷データを作成する。

⇒ P.9「印刷データの作成」

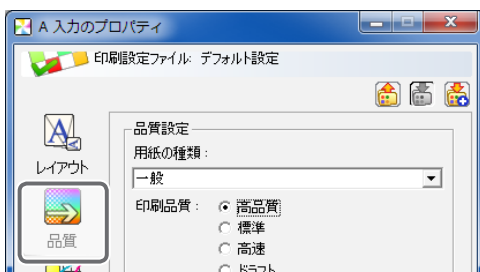
2 をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。

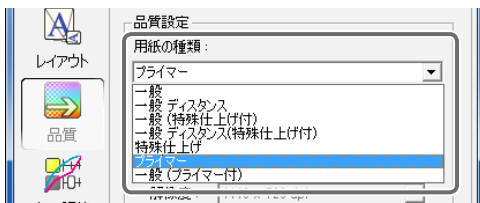


3 用紙の種類、印刷品質、印刷モードを選択する。

① をクリックする。



② [用紙の種類] で「プライマー」を選択する。



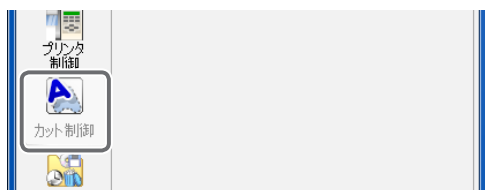
- ③ [印刷品質] を選択する。
- ④ [モード] で「Primer1」または「Primer2」を選択する。
 ※ [モード] に表示される項目はご使用の機種によって異なります。
 ※ [モード] 名の末尾には、「(v)」や「10p」などが付いている場合があります。



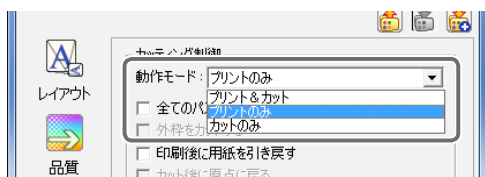
④ プリンターの動作を設定する。

※ LEF シリーズではこの設定はしません。

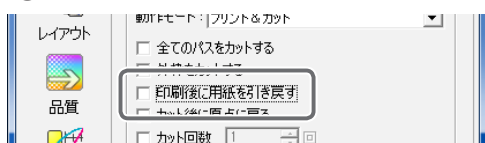
- ①  をクリックする。



② [動作モード] でプリンターの動作を選択する。



③ [印刷後に用紙を引き戻す] のチェックを外す。



メモ

透明フィルムを使用して印刷面の反対側から見せたい場合は、P. 20「メモ：透明フィルムを使用して印刷面の反対側から見せたい場合」を参照してください。

⑤ [OK] をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。

これで印刷設定は完了です。印刷を開始する場合は、P. 46「印刷開始」に進んでください。

※ ここではプライマーを使うために必要な設定だけを行いました。その他の設定については、VersaWorks のオンラインヘルプを参照してください。

プライマーと CMYK / ホワイトを同時に印刷する

※ 「RDG_PRIMER」は VersaWorks Dual でのみ使用できます。

ここではプライマーと CMYK、またはプライマーとホワイトを同時に印刷する方法を説明します。

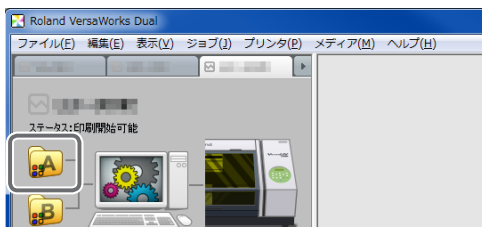
手順

1 印刷データを作成する。

⇒ P.9「印刷データの作成」

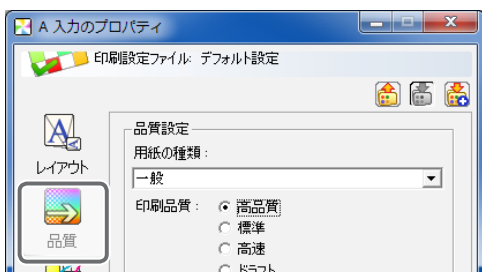
2  をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。

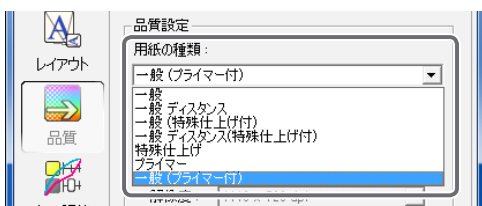


3 用紙の種類、印刷品質、印刷モードを選択する。

1  をクリックする。



2 [用紙の種類] で「一般 (プライマー付)」を選択する。



- ③ [印刷品質] を選択する。
- ④ [モード] で印刷モードを選択する。

Primer -> CMYK	プライマー→CMYK の順に重なります。
Primer -> White	プライマー→ホワイトの順に重なります。

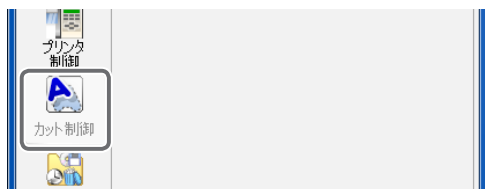
※ [モード] に表示される項目はご使用の機種によって異なります。
 ※ [モード] 名の末尾には、「(v)」や「HD」などが付いている場合があります。



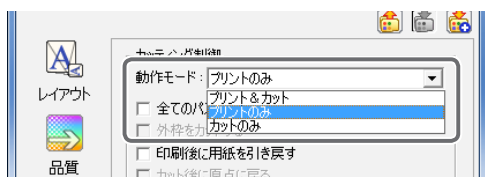
4 プリンターの動作を設定する。

※ LEF シリーズではこの設定はしません。

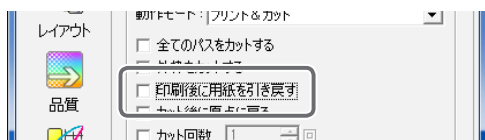
- ① をクリックする。



② [動作モード] でプリンターの動作を選択する。



③ [印刷後に用紙を引き戻す] のチェックを外す。



5 [OK] をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。

これで印刷設定は完了です。印刷を開始する場合は、P.46「印刷開始」に進んでください。

※ ここではプライマーを使うために必要な設定だけを行いました。その他の設定については、VersaWorks のオンラインヘルプを参照してください。

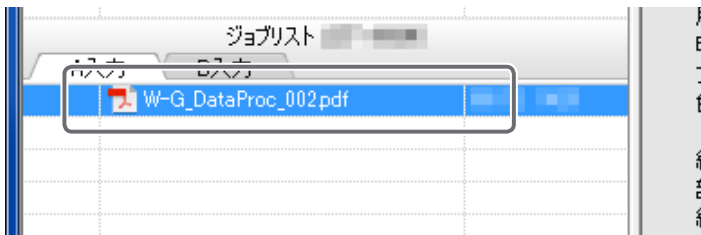
印刷開始

印刷を開始する

印刷設定が完了したら、印刷を開始します。

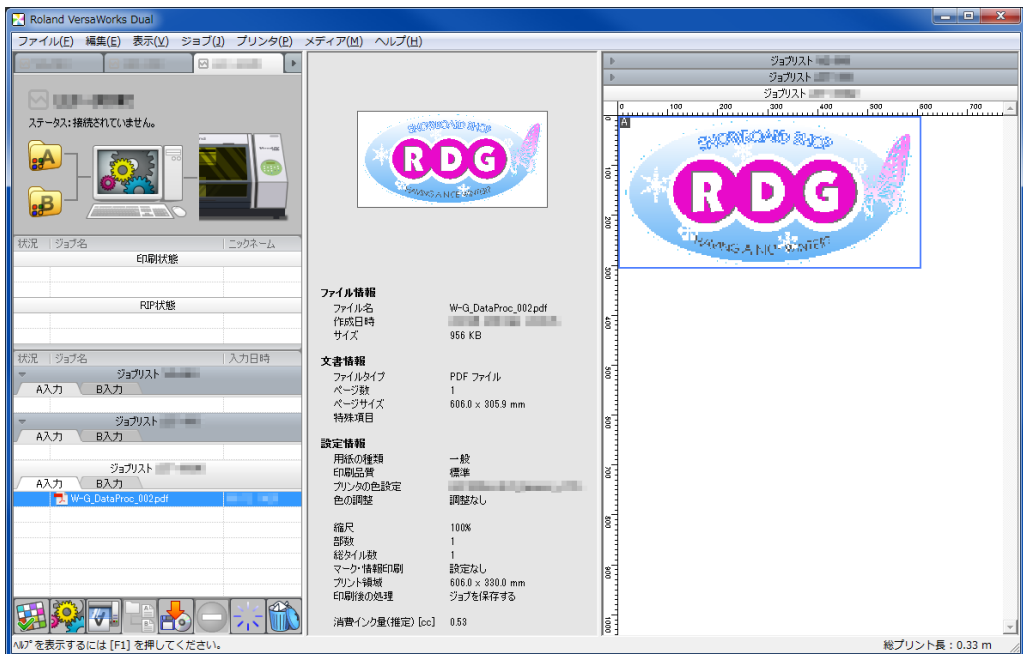
手順

- 1 印刷設定を行う。
 - ☞ P. 18「ホワイトを使って印刷する」
 - ☞ P. 24「グロスを使って印刷する」
 - ☞ P. 42「プライマーを使って印刷する」
- 2 「ジョブリスト」の「A入力」タブをクリックし、印刷データをA入力のジョブリスト（印刷設定をB入力に行っている場合はB入力のジョブリスト）にドラッグ&ドロップする。



データの内容がプレビューウィンドウに、メディア上でのレイアウトがレイアウトウィンドウに表示されます。

- ・「RDG_WHITE」を指定した部分：半透明のレッドの斜線で表示されます。
- ・「RDG_GLOSS」を指定した部分：半透明のブルーの斜線で表示されます。
- ・「RDG_PRIMER」を指定した部分：半透明のグリーンの斜線で表示されます。

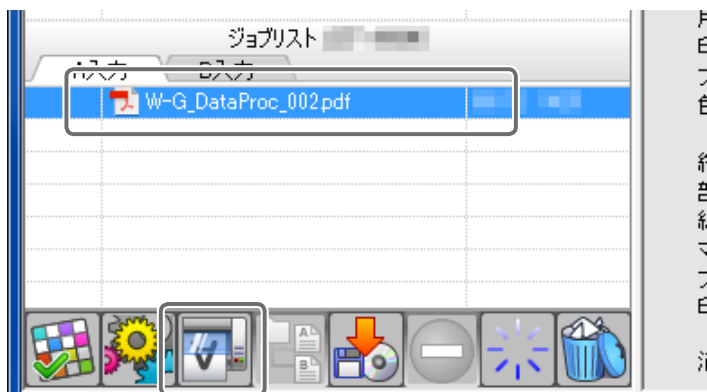


メモ

「RDG_WHITE」「RDG_GLOSS」「RDG_PRIMER」を指定している部分が斜線で表示されない場合は、「品質」－「モード」の設定に誤りがあります。設定を確認してください。

- ③ ジョブリストにある印刷ジョブを選択し、 をクリックする。

印刷を開始します。



メモ

続けて同様の印刷データを印刷する場合は、手順②③を繰り返してください。また、ジョブごとに細かな設定を変えたい場合は、「ジョブの設定」画面（ジョブリストにある印刷ジョブをダブルクリックすると表示）で行うと便利です。

第3章 詳細編

テクスチャ印刷を行う	50
テクスチャ印刷とは	50
テクスチャ印刷のパターンを確認する	50
テクスチャを使ったデータを印刷する	52
より進んだ印刷設定	55
ジョブごとに印刷設定を行う	55
CMYK データとホワイト／グロスデータを VersaWorks で合成する	56
特色版を生成する	58
特色版の位置を補正する	60
特色版のサイズを補正する	62

テクスチャ印刷を行う

テクスチャ印刷とは

テクスチャ印刷とは、グロスインクを使ってテクスチャパターンを表現する印刷方法です。専用ライブラリのテクスチャパターンを使って印刷データを作成して出力します。

メモ

- ※ 仕上がりは「マット仕上げ印刷」を推奨します。光沢仕上げ印刷とエンボス仕上げ印刷では細かな表現がしにくくなります。
- ※ Adobe Illustrator で印刷データを作成する場合、CS5 以降のバージョンで作成してください。Adobe Illustrator CS5 より前のバージョンで印刷データを作成すると、テクスチャパターンをうまく印刷できないことがあります。

3

詳細編

テクスチャ印刷のパターンを確認する

テクスチャの印刷見本となるチャートを印刷して、テクスチャパターンを確認します。チャートを印刷することで「お使いのプリンター」と「お使いのメディア」で印刷できるテクスチャのパターンを確認できます。このチャートからテクスチャパターンを選んで印刷データを作成すれば、意図したパターンをほぼ正確に印刷できます（プリンターやメディアのコンディションによるわずかなパターンの差はあります）。

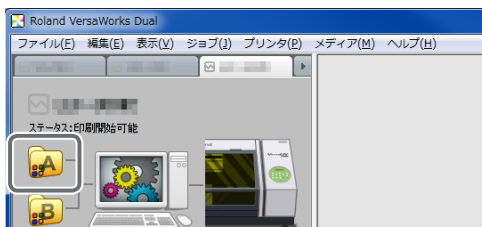
- ※ 実際に使用するものと同じメディアを使って印刷してください。


手順

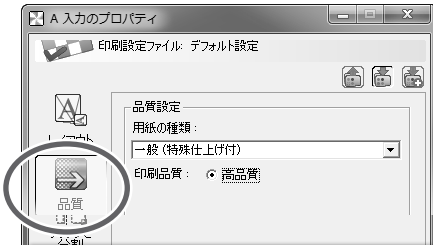
- 1  をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。

- ※ チャート出力ができるのは A 入力のみです。



- 2  をクリックし、用紙の種類、印刷品質、印刷モード等を設定する。



実際に使用するメディア、印刷品質、印刷モードを選択してください。設定方法の詳細は、下記を参照してください。

- ☞ P. 27「マット仕上げ印刷（ホワイト／CMYK→グロス）」
- ☞ P. 30「マット仕上げ印刷（CMYKとグロスを一度に印刷する）」
- ☞ P. 39「グロスのみで印刷する」

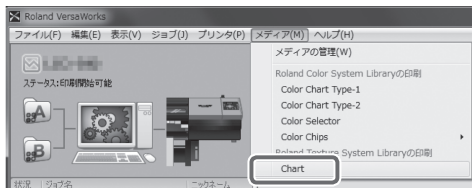
メモ

テクスチャチャートの印刷では、[品質] の設定項目は [入力のプロパティ] 画面の設定が適用されます。ジョブリストに追加された後では、[ジョブの設定] 画面で設定を変更できませんので、必ず [入力のプロパティ] 画面で [品質] の設定を実行してから以下の操作を実行してください。

- 3 テクスチャチャートの印刷ジョブをジョブリストに追加する。

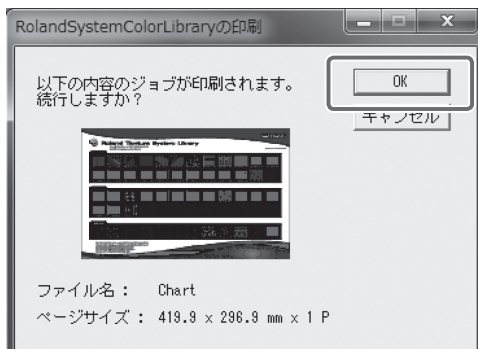
- ① [メディア] - [Chart] をクリックする。


「以下の内容のジョブが印刷されます。続行しますか？」というメッセージが表示されます。表示されているページサイズに対して、プリンターにセットされているメディアのサイズが十分かどうか確認してください。



- ② [OK] をクリックする。

テクスチャチャートの印刷ジョブがジョブリストに追加されます。



4  をクリックする。

「Roland Texture System Library」のテクスチャチャートが印刷されます。



※ 印刷したチャートを使って、P.52「テクスチャを使ったデータを印刷する」の手順 2. でテクスチャパターンを指定します。

テクスチャを使ったデータを印刷する

テクスチャ印刷のための印刷データを作成します。ここでは、印刷データを作成するアプリケーションは Adobe Illustrator CS6 を使用します。描画の方法や各パレットの扱い方などの詳細は、Adobe Illustrator CS6 の取扱説明書またはオンラインヘルプ等をご覧ください。バージョンの異なる Adobe Illustrator をご使用の場合は、以下の説明とは一部の操作が異なります。

1. 専用ライブラリを開く。

1 ライブラリを選択するダイアログを開く。

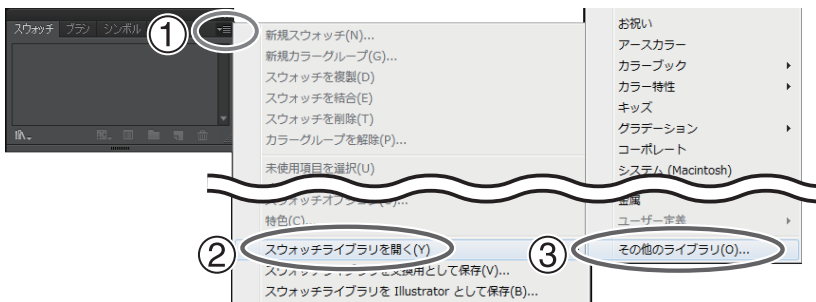
① スウォッチパレットのメニューを開く。

スウォッチパレットは、メニューから [ウィンドウ] → [スウォッチ] を選択すると表示されます。

② [スウォッチライブラリを開く] をクリックする。

③ [その他のライブラリ] をクリックする。

「開く」(または「ライブラリを選択」) ダイアログが表示されます。



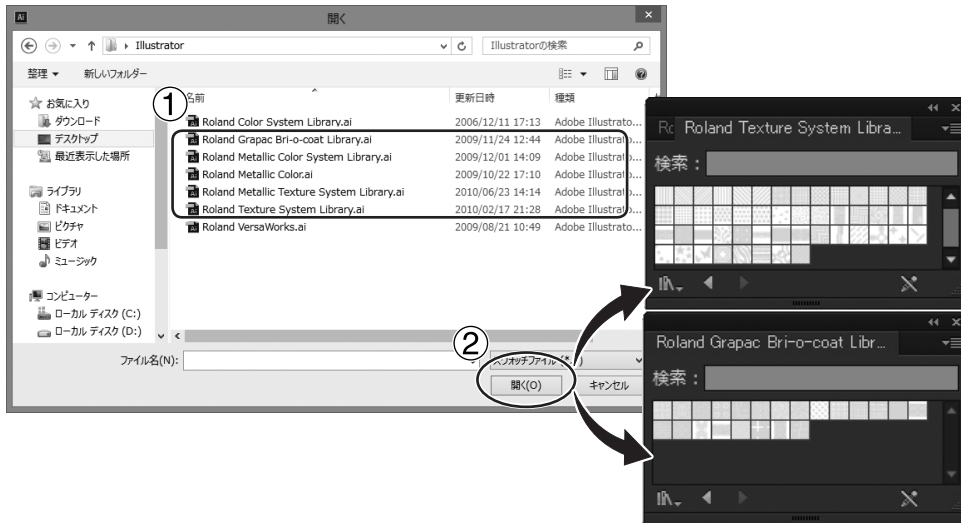
2 専用ライブラリを開く

- ① 「コンピューター」→「ローカルディスク (C:)」→「Program Files」または「Program Files (x86)」→「Roland VersaWorks」または「Roland VersaWorks Dual」→「Swatch」→「Illustrator」の順にフォルダを開き、「Roland Texture System Library.ai」と「Roland Grapac Bri-o-coat Library.ai」を選択する。

※ お使いのコンピューターの設定によっては「.ai」が表示されていないことがあります。

- ② 「開く」をクリックする。

テクスチャパターンが入った専用ライブラリ「Roland Texture System Library」と「Roland Grapac Bri-o-coat Library」が開きます。



3 詳細編

以下の画面が表示されたときは「更新」をクリックしてください。



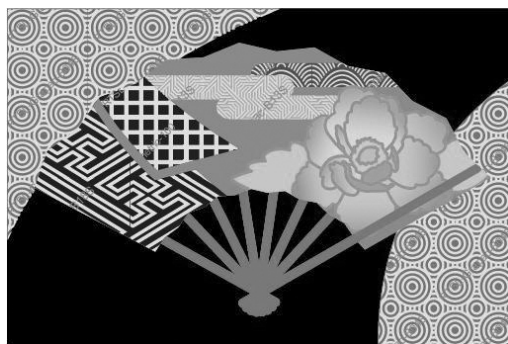
2. イラストを作成し、使用したいテクスチャパターンを指定する。

- ① イラストを作成する。
イラストの描画は、必ず CMYK モードで行ってください。
- ② テクスチャ印刷する場所に、使用したいテクスチャパターンを指定する。
P. 50「テクスチャ印刷のパターンを確認する」で印刷したチャートでテクスチャパターンを確認して指定します。メディアにより色の違いやわずかなパターンの差があるため、実際に使用するものと同じメディアに印刷したチャートで確認してください。
テクスチャパターンで指定した場所は、グロスインクを使って印刷します。テクスチャ印刷以外でグロスインクを使う場合は、専用スポットカラー「RDG_GLOSS」を使用します。
☞ P. 9「印刷データの作成」

3

詳細編

Illustrator 上では、データ上にテクスチャパターン名称が表示されます。また、実際の印刷状態よりも粗く表示されます。



- ③ VersaWorks で「マット仕上げ印刷」の設定をして印刷する。

- ☞ P. 27「マット仕上げ印刷（ホワイト／CMYK→グロス）」
- ☞ P. 30「マット仕上げ印刷（CMYKとグロスを一度に印刷する）」
- ☞ P. 39「グロスのみで印刷する」

重要

仕上がりは「マット仕上げ印刷」を推奨します。光沢仕上げ印刷とエンボス仕上げ印刷では細かな表現がしにくくなります。

テストパターンが印刷されます。

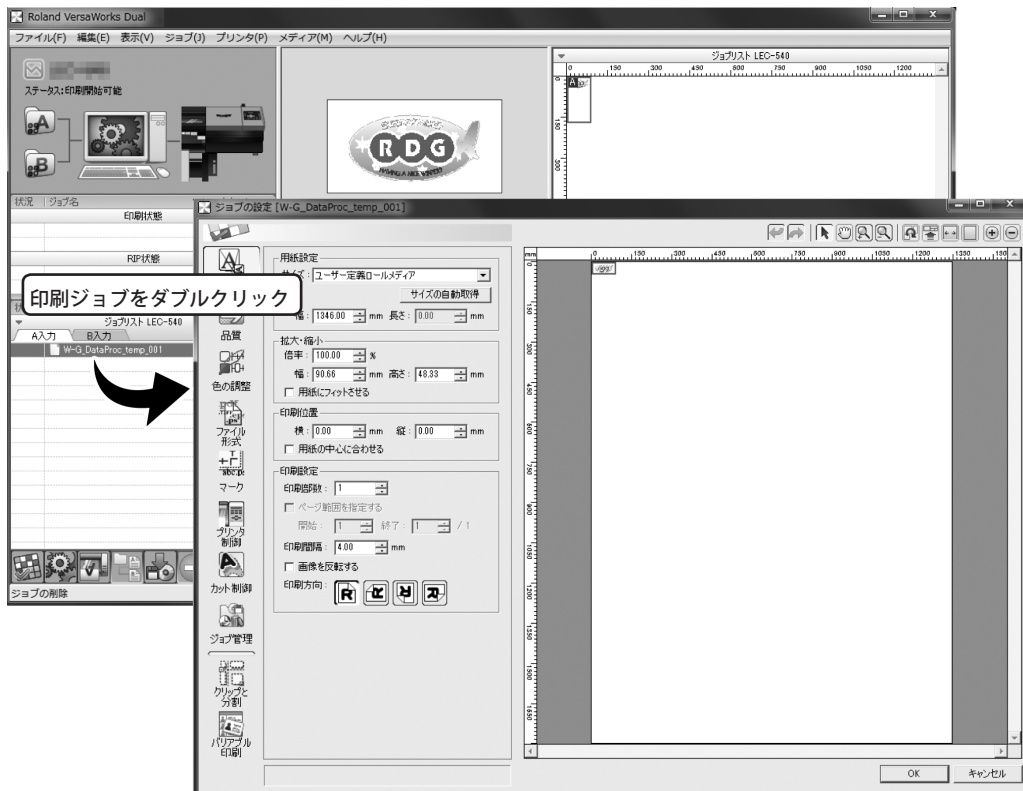
より進んだ印刷設定

ジョブごとに印刷設定を行う

操作方法

印刷を開始する前に印刷ジョブをダブルクリックする。

「ジョブの設定」画面が開きます。この画面でプリンタの動作設定や色の調整など、ジョブ特有の設定をします。



3

詳細編

解説

多くのジョブを連続して出力するとき、個別のジョブで印刷設定が異なる場合は面倒なものです。そこで、印刷を開始する前にジョブごとの設定を「ジョブの設定」画面で行います。つまり、「入力のプロパティ」で共通の基本設定を行い、ジョブごとの設定は「ジョブの設定」で行うという考え方です。「ジョブの設定」では既に「入力のプロパティ」で行われている設定が反映されていますので、色の調整などのジョブ特有の設定を行うことができます。

CMYK データとホワイト／グロスデータを VersaWorks で合成する

CMYK で作成された印刷データとホワイト（またはグロス）で作成された印刷データが別々にある場合に、VersaWorks の中で合成してひとつのジョブとして出力できます。

この機能を使用するには、以下の条件を満たす必要があります。

- 合成できる印刷データの組合せは、CMYK のみの印刷データ 1 個とホワイトのみの印刷データ 1 個、または CMYK のみの印刷データ 1 個とグロスのみの印刷データ 1 個。
- 印刷データは TIFF ファイルであること。
- ホワイトまたはグロスの印刷データは、「TIFF オプション」の「カラーモード」を「グレースケール」にして保存していること。

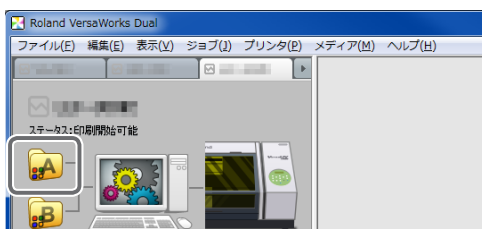
※ ここでの説明では、印刷データを作成するアプリケーションは Adobe Illustrator CS6 を使用します。

手順


- 1 CMYK の TIFF ファイルと、ホワイト（またはグロス）の TIFF ファイルを用意する。

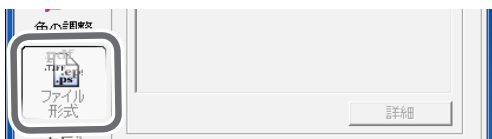
- 2  をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。



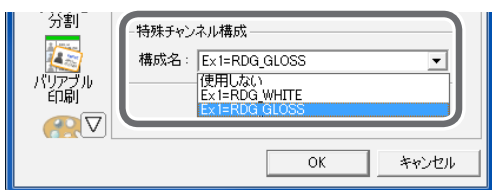
- 3 使用する印刷するデータに合わせて、「特殊チャンネル構成」を選択する。

- 1  をクリックする。




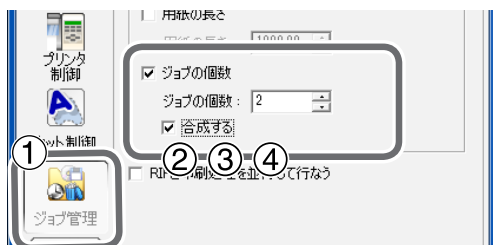
- 2 「特殊チャンネル構成」を選択する。

- ホワイトのみの印刷データを使用する場合：Ex1 = RDG_WHITE
- グロスのみの印刷データを使用する場合：Ex1 = RDG_GLOSS



4 2つのジョブを合成するように設定する。

- ①  をクリックする。
- ② [ジョブの個数] にチェックを入れる。
- ③ [ジョブの個数] で「2」を選択する。
- ④ [合成する] にチェックを入れる。



- ⑤ [OK] をクリックする。




5 「A 入力のプロパティ」でその他の設定をする。

※ グロスインクと CMYK インクを一度に印刷できるのは、マット仕上げ印刷のみです。

⇨ P.27「マット仕上げ印刷（ホワイト／CMYK→グロス）」

⇨ P.30「マット仕上げ印刷（CMYKとグロスを一度に印刷する）」

6 印刷を開始する。

- ① 「ジョブリスト」の「A 入力」タブをクリックする。
- ② CMYK の TIFF ファイルと、ホワイト（またはグロス）の TIFF ファイルを A 入力のジョブリストにドラッグ&ドロップする。
自動で合成します。
- ③  をクリックする。



特色版を生成する




VersaWorks Dual 上で特色版（ホワイト、グロス、プライマー）を生成する方法を説明します。Illustrator 上で特色版を作成したい場合は、P.9「特色用スポットカラーを使って印刷データを作成する」を参考にしてください。

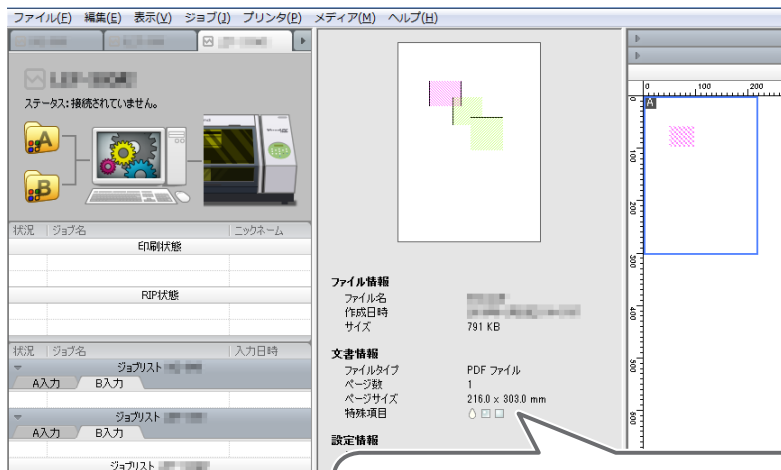
※ VersaWorks Dual のみの機能です。VersaWorks ではこの機能は使えません。

下記のいずれかに該当する印刷データでは、特色版生成はできません




- ・ ラスター形式
- ・ バリアブル印刷用の差し替えデータ
- ・ [RDG_WHITE]、[RDG_GLOSS]、[RDG_PRIMER] のすべてが使用されている（[RDG_WHITE]、[RDG_GLOSS]、[RDG_PRIMER] のいずれかが使用されている場合は、使用されていない特色のみ生成できます）。

メモ

- ・ [RDG_WHITE]、[RDG_GLOSS]、[RDG_PRIMER] を使用している印刷データでは、VersaWorks のプレビューウィンドウの「文書情報」－「特殊項目」に以下のアイコンが表示されます。
 -  : RDG_WHITE
 -  : RDG_GLOSS
 -  : RDG_PRIMER



文書情報

ファイルタイプ	PDF ファイル
ページ数	1
ページサイズ	216.0 × 303.0 mm
特殊項目	  

手順

- 1 「ジョブリスト」から特色版を生成したいジョブを選択し、ダブルクリックする。
[ジョブの設定] 画面が表示されます。


重要

特色版の生成は [ジョブの設定] 画面で行います。[入力のプロパティ] 画面ではできません。

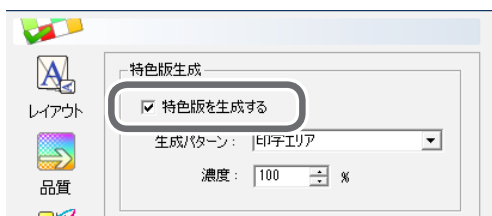
- 2 特色印刷のための印刷設定をする。

ホワイト、グロス、プライマーを印刷するための設定を [ジョブの設定] 画面で行います。設定内容は、[入力のプロパティ] 画面で行う内容と同じです。

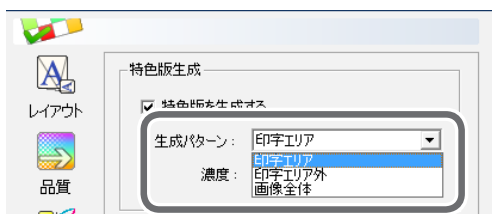
- ☞ P. 18「ホワイトを使って印刷する」
- ☞ P. 24「グロスを使って印刷する」
- ☞ P. 42「プライマーを使って印刷する」





- 3  をクリックする。

- 4 [特色版を生成する] にチェックを入れる。



- 5 [生成パターン] を選択する。



元画像	印字エリア	印字エリア外	画像全体
			
	オブジェクトの下に版を生成します。	オブジェクトのない箇所にも版を生成します。	ジョブサイズ全体に版を生成します。

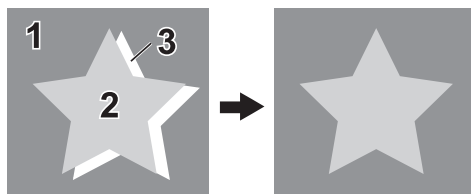
- 6 「OK」をクリックして [ジョブの設定] 画面を閉じる。

これで印刷設定は完了です。印刷を開始する場合は、P. 46「印刷開始」に進んでください。

特色版の位置を補正する


下図のようにずれた特色版の印刷位置を補正します。

- 1 メディア
- 2 プロセスカラー
- 3 特色



※ VersaWoks Dual のみの機能です。VersaWorks ではこの機能は使えません。

1. テスト印刷をする。

- ①  をダブルクリックする。
[A 入力のプロパティ] 画面が表示されます。

メモ

「ジョブリスト」で印刷データをダブルクリックすると表示される [ジョブの設定] 画面でも同じ設定ができます。

- ② 特色印刷のための印刷設定をする。

ホワイ、グロス、プライマーを印刷するための設定を [ジョブの設定] 画面で行います。設定内容は、[入力のプロパティ] 画面で行う内容と同じです。

- ☞ P. 18「ホワイを使って印刷する」
- ☞ P. 24「グロスを使って印刷する」
- ☞ P. 42「プライマーを使って印刷する」

- ③  をクリックする。

- ④ [特色版補正] の [特色] リストボックスから補正する特色インクを選ぶ。

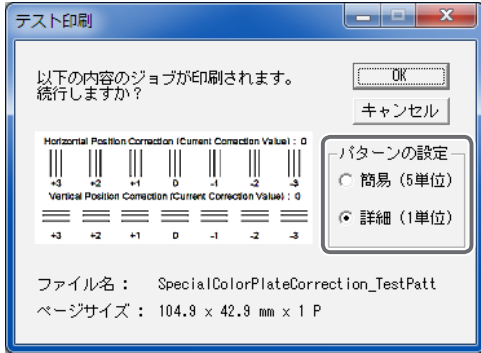


- ⑤ [位置補正] の [テスト印刷] をクリックする。



6 [パターンの設定] を選択し、[OK] をクリックする。

- ・ 簡易：位置ずれを大まかに調整する場合に選択します。
- ・ 詳細：位置ずれを細かく調整する場合に選択します。



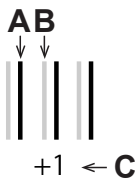
テストパターンが印刷されます。

2. 補正値を設定する。

1 [水平] [垂直] の補正値を入力する。

印刷されたテストパターンから、A (基準線：黒線) と B (特色の線) とのずれが最も小さいものを選びます。テストパターンに記載されている C ([水平] [垂直] の補正値) を入力します。

※ テストパターンの補正値はデータごとに異なります。補正値はデータごとに設定してください。

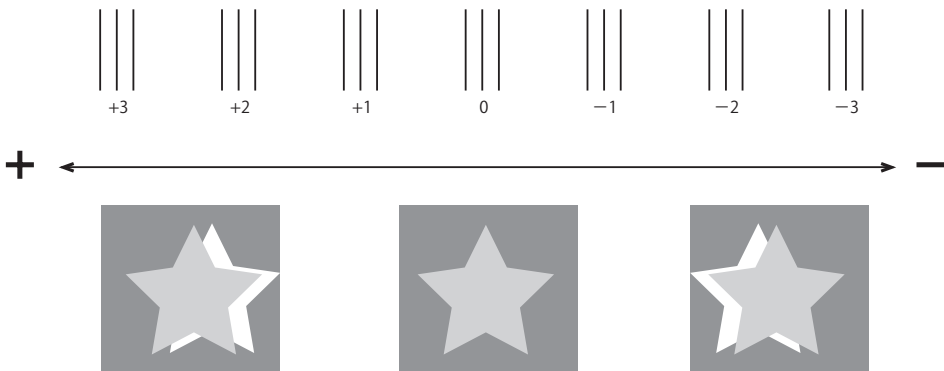


A 基準線 (黒線)
B 特色の線
C 補正値

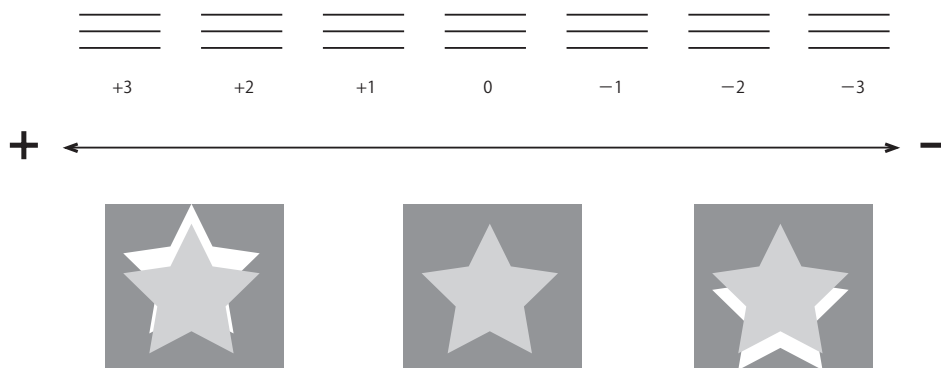
位置補正

水平 : 2 0.070 mm テスト印刷
垂直 : 2 0.070 mm

水平方向の補正位置と印刷位置



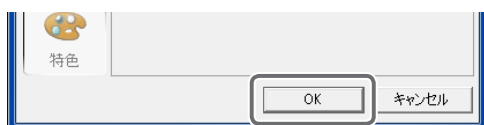
垂直方向の補正位置と印刷位置



3

詳細編

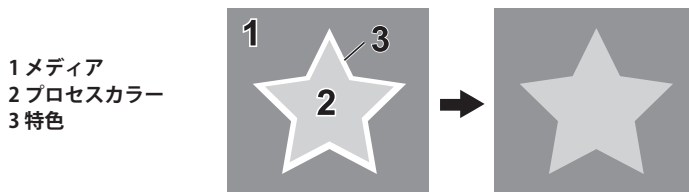
- ② [OK] をクリックする。



特色印刷データのサイズ調整が必要な場合は、続けて P.62「特色版のサイズを補正する」を行います。

特色版のサイズを補正する

下図のようにサイズがずれた特色版を調整します。サイズを補正する場合は、位置補正を先に行うことをおすすめします。



※ VersaWoks Dual のみの機能です。VersaWorks ではこの機能は使えません。

1. テスト印刷をする。

- ①  をダブルクリックする。

[A 入力のプロパティ] 画面が表示されます。

メモ

「ジョブリスト」で印刷データをダブルクリックすると表示される [ジョブの設定] 画面でも同じ設定ができます。

2 特色印刷のための印刷設定をする。

ホワイト、グロス、プライマーを印刷するための設定を [ジョブの設定] 画面で行います。設定内容は、[入力のプロパティ] 画面で行う内容と同じです。

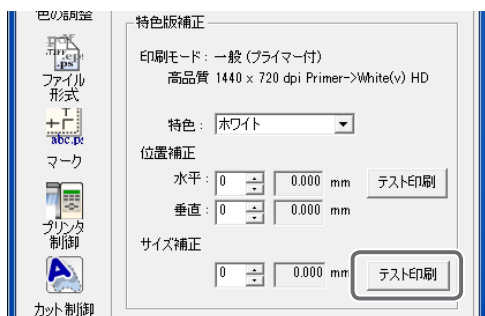
- ⇒ P.18「ホワイトを使って印刷する」
- ⇒ P.24「グロスを使って印刷する」
- ⇒ P.42「プライマーを使って印刷する」

3 をクリックする。

4 [特色版補正] の [特色] リストボックスから補正する特色インクを選ぶ。



5 [サイズ補正] の [テスト印刷] をクリックする。



6 [パターンの設定] を選択し、[OK] をクリックする。

- ・ 簡易：位置ずれを大まかに調整する場合に選択します。
- ・ 詳細：位置ずれを細かく調整する場合に選択します。



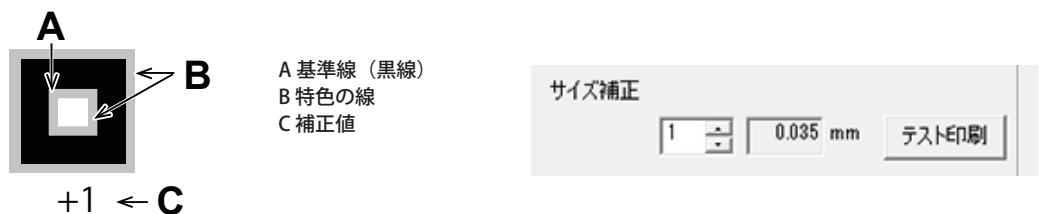
テストパターンが印刷されます。

2. 補正値を設定する。

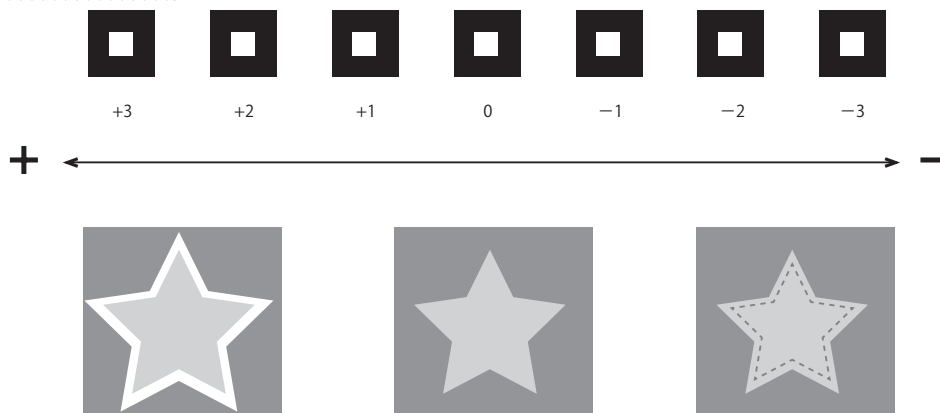
① [サイズ] の補正値を入力する。

印刷されたテストパターンから、A（基準線：黒線）とB（特色の線）とのずれが最も小さいものを選びます。テストパターンに記載されているC（[水平] [垂直] の補正値）を入力します。

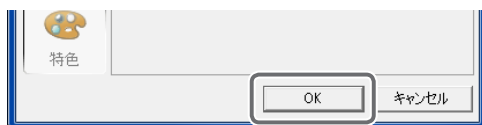
※テストパターンの補正値はデータごとに異なります。補正値はデータごとに設定してください。



補正値と印刷位置



② [OK] をクリックする。



 **Roland**